

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化・市民活動課)

施設名称	宮崎市民活動センター		
指定管理者名	特定非営利活動法人宮崎文化本舗		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	20 / 20	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	20 / 22	90.9%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	/	
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10 / 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22 / 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	70 / 71	98.6%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,723,790	計画値	67.4%	0.0%	28,074,000	28,074,000	0
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	70.2%	0.0%	28,557,619	26,833,829	0
6.04%	増減	2.8%	0.0%	483,619	-1,240,171	0

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	市民活動やボランティアに関する様々な講座を実施したり、設立や運営相談等を行っており、市民へのニーズに応じている。	講座や情報提供、相談業務等により市民活動団体や個々のボランティアの方への意識、能力向上に貢献しているとともに、市民が市民活動に参加しやすい環境が整えられている。
自主事業	市民が市民活動に参加しやすい環境が整えられている。	施設内の環境を整備したり、ボランティアに参加しやすいシステム・表彰制度を設けるなど、市民が市活動民に参加しやすい環境が整えられている。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	19,460人	13,119人	15,775人	31,387人	32,942人
対前年比率	148.3%	83.2%	50.3%	95.3%	102.6%
指定期間	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	32,118人	32,988人	34,915	35,904	37,643人
対前年比率	97.4%	94.5%	97.2%	95.4%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の利用制限の緩和等により、前年より利用者数が増えた。		利用者1人あたりの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0	昨年度実績値 2178
	②コロナの影響を除くと、約3万人を超えての利用があり、概ね平均的である。		利用料金	48.18833505	実績値 1378.922354
			自主事業	1.814748201	増減 -799.0776465

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・スタッフは親切だし使い勝手のいい施設ですね。 ・とても適切なアドバイスをいただきました。 ・いつも便利に利用させていただいております。 ・いつも親切丁寧な対応ありがとうございます。
	苦情	会議中に隣の声が聞こえるのが気になります。
改善の姿勢	スタッフや設備への苦情・ご意見はないが、毎月の職員研修を行い、職員のスキル・サービス向上に努めている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	◎	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	◎		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	◎		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ・仕様書に基づき概ね良好に指定管理業務を実施されている。
- ・利用者のニーズを把握しながら適宜改善を行なっているほか、職員の対応や施設の管理についても、マニュアルの整備や職員研修を実施するなど職員間の連携により適正に実施している。新型コロナウイルス感染症による施設の一部利用制限時においても、利用者への事前の案内や説明を徹底し、利用者の混乱を回避していた。
- ・講座についても、オンラインで開催する等、感染症対策を行って開催していた。
- ・自主事業にも取り組んでおり、指定管理者として積極的な姿勢がうかがえる。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化・市民活動課・子育て支援課)

施設名称	宮崎市男女共同参画センター(ファミリー・サポート・センターみやざき含む)		
指定管理者名	特定非営利活動法人ドロップインセンター		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	11 / 12	91.7%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32 / 32	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20.5 / 25	82.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 71	93.0%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,594,063	計画値	67.0%	4.4%	42,142,981	42,142,981	1,875,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	66.7%	5.0%	42,969,288	41,375,225	2,040,025
3.71%	増減	-0.3%	0.6%	826,307	-767,756	165,025

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	・男女共同参画に関する事業実施や施設提供を行い、市民の男女共同参画に対するニーズに応えている。 ・働く人々の仕事と子育ての両立を支援し、子育て家庭の育児負担軽減を図っている。	・男女共同参画社会の形成促進に貢献している。 ・地域全体における子育て意識の向上に貢献している。
自主事業	・社会情勢に応じた事業を展開し、男女共同参画社会づくりの実現に向けた施策推進のための拠点となっている。 ・市民がファミリー・サポート・センター事業を利用しやすい環境整備を行っている。	・男女共同参画社会の形成促進に貢献している。 ・地域全体における子育て意識の向上に貢献している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	16,372人	12,747人	12,006人	18,150人	18,216人
対前年比率	128.4%	106.2%	66.1%	99.6%	110.2%
指定期間	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	16,529人	13,564人	4,352人		
対前年比率	121.9%	311.7%			
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の対策を行ったうえで での施設利用が定着してきたことから、前年度と 比較して増加となった。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度 実績値 3,316
	②平成27年12月1日開館後、利用者数は毎年増加傾 向にあった。新型コロナウイルス感染症の影響で 減少していたが、感染対策を行ったうえで施設 利用が定着してきたことで、回復傾向にある。		利用料金	0.0	実績値 2,527
			自主事業	0.0	増減 ▲ 789

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・新型コロナウイルス感染症が心配な中、久しぶりに歌うことができて良かったです。 ・プロジェクターのセッティングなど大変親切にご対応いただき、感謝しております。 ・とても使いやすかったです。ネットも安定していて音響もよく聞こえました。 ・楽しい時間を過ごせました。
	苦情	・ホールのモップが汚れています。 ・掃除機のフィルターの掃除をお願いします。 ・洗剤の1つが薄いです。 ・ホールに設置してある鏡の歪みがひどく利用できません。是非、取り替えてください。
改善の姿勢	・モップ掃除済。 ・掃除機のフィルター掃除済。 ・洗剤補充済。 ・市と協議のうえ、取り替えは難しい旨を回答。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

・概ね期待どおりの管理運営が行われている。
・利用者のニーズを把握しながら、適宜改善を行っており、職員の対応や施設の管理についても、マニュアルの整備や職員研修を実施する等、職員間の連携により適正に実施している。
・自主講座等については、会場参加とリモート参加を選択できるハイブリッド方式で実施する等、仕様書に記載されている業務内容を概ね適正に実施されていた。
・令和4年度より、0歳からのジェンダー事業や宮崎市自治会連合会役員向け男女共同参画基礎編のプレゼンを行う等、積極的な姿勢がうかがえる。
・ファミリー・サポート・センター事業については、依頼会員の自己負担が軽減され利用しやすくなった一方で、活動依頼の内容が多様化するなか、市と連携し、事業を適正に実施している。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化・市民活動課)

施設名称	宮崎市民プラザ				
指定管理者名	公益財団法人宮崎文化振興協会				
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	13 / 15	86.7%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21.5 / 25	86.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67 / 71	94.4%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
9,128,955	計画値	36.1%	36.9%	186,270,000	187,016,000	21,528,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	32.3%	37.6%	182,298,614	173,169,659	23,367,731
5.01%	増減	-3.8%	0.8%	-3,971,386	-13,846,341	1,839,731

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	仕様書通り、管理業務を行っており、利用者からも概ね満足している声が寄せられた。	地域文化の向上に貢献している。
自主事業	「市民文化の振興」「若い世代へのアプローチ」「文化芸術活動への支援」の3つの取組方針に基づいて、鑑賞型や創造・参加型、普及・育成型など様々な形での事業を計画的に取組んでいる。	地域文化の向上に貢献している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	72,172人	83,503人	70,066人	222,623人	186,133人	
対前年比率	86.4%	119.2%	31.5%	119.6%	103.8%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	179,380人	186,460人	190,104人	175,773人	185,195人	
対前年比率	96.2%	98.1%	108.2%	94.9%		
指定期間	●	●	●	●		
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①施設の大規模改修により長期間（8月～2月）の閉館があったため、利用者が減少した。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	268.4	昨年度 実績値	2,284
	②施設の老朽化による改修工事のため休館すること も増えてきており、利用者の減少がみられている。		利用料金	0.0	実績値	2,399
			自主事業	9.4	増減	115

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	利用者アンケートによる評価 満足53.8% どちらかといえば満足42.4% どちらかといえば不満3.1% 不満0.6% ・いつも笑顔で親切に対応してもらってます。 ・トイレがいつも清潔で飾り付けの季節で素敵です。
	苦情	・開館を早めにしてほしい(15分前)。ギャラリーは20分前(準備が多い)。 ・隣室からの声が聞こえる時がある。 ・地下駐車場を3時間に無料にしてほしい。 ・オンラインで申請できるようにしてほしい。
改善の姿勢	・1Fエントランスにデジタルサイネージを設置した。 ・施設の利用者からの要望については、指定管理者で対応可能なものについては適宜改善するなど、使用者のニーズに応えるよう取組んでいる。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について ①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況
・概ね期待どおりの管理運営が行われている。 ・イベント等の開催周知については、指定管理者の努力により、早めにかつSNSや市の媒体等を積極的に活用するなど、期待以上の成果が得られている。 ・大規模改修による長期間の貸館閉館があったものの、令和4年度は光熱水費高騰の影響を大きく受けた結果、使用料は減少したが、使用額は増加している。 ・利用者アンケートから、スタッフの接遇や、施設内の清掃状態などで高評価がみられる。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化・市民活動課)

施設名称	宮崎市民文化ホール		
指定管理者名	MSG・AVCグループ		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40.5 / 43	94.2%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	11 / 12	91.7%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	23 / 25	92.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	69 / 71	97.2%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-2,897,192	計画値	23.3%	40.4%	197,891,000	197,891,000	41,500,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	22.8%	39.1%	198,842,172	201,739,364	46,950,435
-1.46%	増減	-0.5%	-1.2%	951,172	3,848,364	5,450,435

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	市民が利用しやすい施設を提供しており、文化芸術に取り組みたいという市民のニーズに応えている。	地域文化の向上に貢献している。
自主事業	各種芸術文化事業を提供しており、優れた文化芸術を鑑賞したいという市民のニーズに応えている。	地域文化の向上に貢献している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	145,939人	130,990人	67,107人	189,774人	238,244人	
対前年比率	111.4%	195.2%	35.4%	79.7%	83.8%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	284,302人	279,032人	292,587人	293,260人	287,198人	
対前年比率	101.9%	95.4%	99.8%	102.1%		
指定期間	●	●	●	●		●
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染症の影響により低迷していた利用者数が緩やかに回復してきている。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	284.5	昨年度 実績値	1,462
	②平均して約30万人弱の利用があったが、近年は施設の老朽化に伴う改修工事を順次実施している影響から、休館による利用者減がみられている。		利用料金	0.0	実績値	1,382
			自主事業	50.3	増減	▲ 80

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・親切で素早く対応いただいた。 ・笑顔で対応してくださり、説明もわかりやすかった。
	苦情	・収容人数に対して駐車場が少ない。 ・トイレの設備が古い。 ・交通手段が限られている。
改善の姿勢	・駐車場の数が不足しているため、大規模公演の際などは警備員を配置するなどして対応を取っている。 ・施設の利用者からの要望については、指定管理者で対応可能なものについては適宜改善するなど、使用者のニーズに応えるよう取組んでいる。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○	事業収支	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)	
①概ね期待どおりの運営が行われている。 ②利用者のニーズを把握しながら適宜改善を行っているほか、各種イベントについても基本協定で定められた数以上の行事に取り組んでいる。 ③合理的な運営・経費削減に取り組んでいるが、令和4年度は光熱水費高騰の影響を大きく受けている。 ④コロナ禍からは回復傾向にあるが、一部改修工事等の影響もあり、ピーク時の利用数には戻っていない状況である。	

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化・市民活動課)

施設名称	みやざきアートセンター				
指定管理者名	みやざき文化村				
指定期間	2018.4.1	～	2023.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40.5 / 43	94.2%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12.5 / 15	83.3%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21 / 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67 / 71	94.4%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	31.6%	1.0%	208,851,111	208,851,111	6,500,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	35.1%	1.5%	179,249,665	179,249,665	8,477,771
0.00%	増減	3.5%	0.5%	-29,601,446	-29,601,446	1,977,771

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	各種芸術文化事業の実施や施設を提供しており、市民の文化芸術に対するニーズに応えている。	地域文化の向上に貢献しているとともに、中心市街地ににぎわいをもたらしている。
自主事業	各種芸術文化事業の実施や施設を提供しており、市民の文化芸術に対するニーズに応えている。	地域文化の向上に貢献している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	74,964人	54,041人	28,077人	206,249人	129,543人	
対前年比率	138.7%	192.5%	13.6%	159.2%	60.1%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	215,467人	222,456人	71,498人	86,350人	67,928人	
対前年比率	96.9%	311.1%	82.8%	127.1%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数は低迷していたが、徐々に回復がみられている。		利用者1人あたりからの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度実績値	4,400
	②実施イベントの集客に左右されることもあり、増減の幅が大きくなっている。		利用料金	10.3	実績値	2,391
			自主事業	1,056.2	増減	▲ 2,009

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・スタッフが親切だった、優しかった。 ・密防止やアンケート記入用鉛筆の消毒等コロナ対策がきちんとされており、安心して鑑賞できた。 ・ワークショップのアイテムの作り方を丁寧に教えてくれた。
	苦情	・スタッフから監視されているようで集中して見るができなかった。 ・スタッフは「騒がない」「触らない」などの禁止用語を使うのではなく肯定的な用語を使って注意してほしい。 ・順路が分かりにくい。
改善の姿勢	来場者アンケートへの対応に加え、年2回半期ごとに学識経験者や関連施設関係者、マスコミで組織する運営評価委員会を開催。事業内容や施設管理運営に対する評価を受け、そこでの意見を事業及び施設管理運営に反映している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	◎		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○	事業収支	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね期待どおりの管理運営が行われている。
 ②新型コロナウイルス感染症の影響により入場者数減となっている事業については、事業内容の見直しを行ったほか補助金を獲得するなどの自助努力により補っている。
 ③企画展については入場者数が伸び悩んだが、文化庁の補助金を獲得するなど自助努力に務めている。
 ④コロナ禍からは回復傾向にあるが、ピーク時の利用数には戻っていない状況である。

令和

4 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化・市民活動課)

施設名称	宮崎市清武文化会館				
指定管理者名	トールツリーグループ				
指定期間	2020.4.1	～	2024.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21 / 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
4,046,376	計画値	26.8%	31.7%	94,803,000	94,803,000	10,667,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	27.5%	33.4%	92,650,890	88,604,514	11,609,241
4.37%	増減	0.7%	1.7%	-2,152,110	-6,198,486	942,241

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	各種芸術文化事業の実施や施設を提供しており、市民の文化芸術に対するニーズに応えている。	地域文化の向上に貢献している
自主事業	各種芸術文化事業の実施や施設を提供しており、市民の文化芸術に対するニーズに応えている。	地域文化の向上に貢献している

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	91,079人	59,279人	37,439人	68,335人	87,772人	
対前年比率	153.6%	158.3%	54.8%	77.9%	106.9%	
指定期間	●	●	●			
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	82,092人	82,267人	76,249人	80,460人	68,000人	
対前年比率	99.8%	107.9%	94.8%	118.3%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①令和4年度は新型コロナウイルス感染症も3年目となり、利用制限等も行わず、withコロナで事業を実施していった。		利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度実績値	973
	②新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなり、現指定管理者が人気な企画を行うなどの成果が見られている。		利用料金	204.2	実績値	973
			自主事業	62.9	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	主に指定管理者による文化事業について、概ね好評なアンケート結果であった。 「半九ホールひとりじめ」はリピーターも多く、参加者の満足度が高い。
	苦情	・駐車場が少なく不便。
改善の姿勢	・駐車場が専用駐車場ではなく、共用のため駐車可能台数を増やすことは物理的に難しい。このことから、清武文化会館の職員から主催者や利用者に対して丁寧な説明を行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね期待どおりの運営が行われている。
 ②利用者のニーズを把握しながら適宜改善を行なっているほか、職員の対応や施設の管理についても、マニュアルの整備や普段の職員間の連携により適正に実施している。
 ③感染対策を徹底して事業を行うなど積極的な姿勢が見られている。
 ④本施設は、地域と密接な事業から全国的な興行まで幅広く行っている。今後もより良い施設運営を目指していきたい。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市葬祭センター		
指定管理者名	文化・イージスグループ		
指定期間	2022.4.1	～	2027.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	34 / 36	94.4%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	38 / 43	88.4%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32 / 36	88.9%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	12 / 15	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64 / 67	95.5%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	33.9%	15.0%	76,557,000	76,557,000	13,923,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	29.1%	12.6%	88,981,249	88,981,249	13,612,304
0.00%	増減	-4.7%	-2.4%	12,424,249	12,424,249	-310,696

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに実施され、火葬業務の機能維持が図られた。	公衆衛生及び公共の福祉の見地から、火葬業務を安定的に行った。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	4,897人	4,296人	4,244人	4,088人	3,986人	
対前年比率	114.0%	101.2%	103.8%	102.6%	101.4%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	3,931人	3,981人	3,730人	3,651人	3,766人	
対前年比率	98.7%	106.7%	102.2%	96.9%		
指定期間	●					
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①死亡者数が増えたことにより、火葬件数が増加したため。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	12,441.9	昨年度 実績値	17,081
	②高齢化等による死亡者の増加		利用料金	0.0	実績値	18,171
			自主事業	0.0	増減	1,090

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	職員の接遇については、概ね「良い」以上の評価
	苦情	特記なし
改善の姿勢	日々の業務で発生した事案等の情報を共有し、職員間で周知徹底に努めた。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。			○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		○	事業計画書における未実施の事業はなかったか。			○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		○	管理物件の滅失又は損傷はなかったか。			○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		○	権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。			○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		○	報告・提出書類の期日は守られていたか。			○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		○	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。			○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。			○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。			○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		○	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。			○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。		○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

①安心して施設利用できる環境づくりがなされ、期待どおりの管理運営が行われた。

②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。

③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。

④高齢化等による死亡者の増加に伴い、利用者数も増加した。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎南部墓地公園				
指定管理者名	グループやすらぎ				
指定期間	2022.4.1	～	2027.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	47 / 47	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	24.5 / 25	98.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	69 / 71	97.2%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	41.6%	39.8%	22,054,859	21,955,000	1,710,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	40.0%	38.5%	22,054,859	22,054,859	2,550,168
0.00%	増減	-1.5%	-1.3%	0	99,859	840,168

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、きめ細かいサービスの提供をした。	墓地公園の環境美化に努め、地域の活動場所となっている。
自主事業	事業計画に基づき実施し、利用者が快適に利用できるように努めた。	墓地公園の環境美化に努め、地域の活動場所となっている。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	41,143人	39,881人	42,303人	48,141人	46,227人
対前年比率	103.2%	94.3%	87.9%	104.1%	111.4%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	41,490人	45,503人	46,404人	45,510人	42,792人
対前年比率	91.2%	98.1%	102.0%	106.4%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①墓参者が増加したため。 ②墓地使用者は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、利用者が減少していたが、令和4年度より少しずつ回復してきている。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	1,907.3	昨年度 実績値 532
			利用料金	0.0	実績値 536
			自主事業	0.0	増減 4

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・職員の態度、身だしなみ、言葉づかい、説明の仕方が大変良い。 ・施設が清潔 ・亡くなった親族を安心してお願いできる。
	苦情	特になし
改善の姿勢		

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。		○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		◎		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		○		報告・提出書類の期日は守られていたか。		○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		○	事業収支	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。		○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○		想定した利用者数を確保できていたか。		○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①期待どおりの管理運営が行われている。業務体制については、指定管理者職員で細かい業務確認等の経営努力により、利用者から高評価も多く期待以上の成果が得られている。
 ②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
 ③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。
 ④時代とともに一般墓地への需要は減少傾向にある。

令和

4 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎みたま園				
指定管理者名	宮交ビルマネジメント株式会社				
指定期間	2022.4.1	～	2027.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	42 / 47	89.4%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	15 / 20	75.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	19 / 25	76.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
422,183	計画値	47.1%	0.0%	12,027,880	12,027,880	1,010,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	43.7%	0.0%	12,395,657	11,973,474	913,523
3.41%	増減	-3.4%	0.0%	367,777	-54,406	-96,477

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに実施され、利用者の利便性の向上が図られた。	墓地区画のほか多目的広場等が整備され、市民の憩いの場として機能した。
自主事業	地域市民の交流の場として適切に利用された。	地域市民の健康・福祉増進が図られた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	9,508人	9,583人	9,654人	9,659人	9,773人	
対前年比率	99.2%	99.3%	99.9%	98.8%	100.2%	
指定期間	●					
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	9,758人	9,777人	9,793人	9,793人	9,820人	
対前年比率	99.8%	99.8%	100.0%	99.7%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①墓じまいや他の墓地への改葬のため、返還される区画が増えている。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	1,281.0	昨年度 実績値	1,265
	②墓地使用者の高齢化が進む中での将来への不安、また承継者不在（子供たちが県外に移住している）ことにより、墓じまいをする区画が増えてきている。		利用料金	0.0	実績値	1,259
			自主事業	0.0	増減	▲ 6

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・駐車場や水道や整備されており墓参がしやすい。
	苦情	・カラスが供え物の花や湯飲みなどにいたずらするため困っている。 ・未貸出区画、および長期間墓参がない区画において草が伸びており見苦しい。 ・墓参目的以外と思われる駐車が目立つ。
改善の姿勢	管理事務所職員に対し墓域や駐車場の見回り強化を要請した。また、墓参者への影響が特に大きいと思われる雑草の繁茂については、随時草刈対応を要請した。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	△
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○	事業収支	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね期待どおりの管理運営が行われている。自主事業(自動販売機設置)について一部報告の遅れが見受けられたが、市からの要請により改善を行っている。
 ②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
 ③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。
 ④時代とともに一般墓地への需要は減少傾向にある。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	環境学習交流施設		
指定管理者名	ほがらか・げんき会		
指定期間	2021.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
455,212	計画値	56.8%	8.3%	83,666,000	83,136,000	16,432,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	57.7%	6.6%	83,800,739	83,345,527	16,090,229
0.54%	増減	0.9%	-1.7%	134,739	209,527	-341,771

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、廃棄物の減量、再利用及び再生利用の促進に関する情報提供等を通じて、循環型社会に対する意識の啓発等を図るとともに、廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーの有効な利用状況の体験を通じて、市民の健康の維持及び増進が図られた。	廃棄物の減量、再利用及び再生利用の促進に関する情報提供等を通じて、循環型社会に対する意識の啓発等を図るとともに、廃棄物を焼却した際に発生する熱エネルギーの有効な利用状況の体験を通じて、市民の健康の維持及び増進が図られた。
自主事業	事業計画どおり実施し、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域住民の健康の維持及び増進が図られた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	91,144人	41,483人			
対前年比率	219.7%				
指定期間	●	●			
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数					
対前年比率					
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①休館日数が異なるため(令和3年度は、新型コロナウイルスや駐車場の陥没の影響により152日間の休館対応を実施。令和4年度はレジオネラ発生により15日間の休館対応を実施) ②		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	124.8	昨年度実績値 1,680
			利用料金	0.0	実績値 914
			自主事業	11.0	増減 ▲ 766

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・ごみについて楽しく学べた。 ・ごみ処理について理解できた。 ・浴槽もきれいで気持ちよかった。 ・料金が安くて良い。
	苦情	・ほがらか湯の常連客が場所を占領して使いにくい。 ・お湯の温度が高い(低い)。 ・再生品の抽選方法は、宮崎県環境衛生公社の時の方法が良かった。
改善の姿勢	・お湯の温度に関しては、適当な温度ではあるが、要望等については指定管理者と情報を共有しながら適切に対応している。 ・再生品の抽選については、現金徴収等の問題があるため現行の方法で対応している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね期待どおりの管理運営が行われていた。
 ②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
 ③事業収支は、レジオネラ発生に伴う施設閉鎖の影響で利用者が減少したため、施設使用料が見込みより減少した。
 ④利用状況は、新型コロナウイルス等による閉館日数が大幅に減少したため、利用者数が大幅に増加した。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市立共同利用施設月見ヶ丘センター			
指定管理者名	月見ヶ丘南自治会			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36 / 39	92.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	12 / 12	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	11 / 12	91.7%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	18 / 20	90.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	56 / 59	94.9%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
35,930	計画値	71.6%	0.0%	419,185	419,185	
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	78.3%	0.0%	419,184	383,254	
8.57%	増減	6.7%	0.0%	-1	-35,931	

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに用務を遂行し、安全かつ安定した施設管理がなされる。	各種会合やサークルの活動などの場を提供することにより、地域住民の交流を高め、地域の振興に寄与している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	11,768人	8,812人	8,189人	17,980人	20,332人	
対前年比率	133.5%	107.6%	45.5%	88.4%	101.7%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	19,993人	21,354人	20,422人	21,617人	22,096人	
対前年比率	93.6%	104.6%	94.5%	97.8%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖等もなく、指定管理者の努力により、利用者数は前年度と比較して増加がみられた。		利用者1人あたりからの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	25.5	昨年度実績値	41
	②令和元年度まではほぼ均衡を保っていたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖や利用控えの影響を受け、利用者数も大きく落ち込んでいる。		利用料金	2.5	実績値	33
			自主事業	0.0	増減	▲ 8

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・設備が充実しており、利用しやすい施設である。
	苦情	・窓のサッシが重たく、開閉が困難である。 ・エアコンが故障している。 ・団体利用の予約が多く、いざ子どもが利用する時に利用できないことがある。
改善の姿勢	・施設の不具合や破損箇所については、指定管理者で随時経過観察し、その状況を市へ報告している。 (窓のサッシ及びエアコンの修繕については、市が対応済み)	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	◎		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	△	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- 概ね良好に管理運営がなされていた。
- 協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
- 大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。
- 利用者数は、コロナ渦以前までとはならないが前年度と比較して増加の傾向がみられた。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市立共同利用施設南赤江センター				
指定管理者名	赤江自治会				
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法	非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36 / 39	92.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	8 / 8	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	19 / 20	95.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	56 / 59	94.9%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
10,163	計画値	54.0%	0.0%	272,390	272,390	
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	56.1%	0.0%	272,390	262,227	
3.73%	増減	2.1%	0.0%	0	-10,163	

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに用務を遂行し、安全かつ安定した施設管理がなされる。	各種会合やサークルの活動などの場を提供することにより、地域住民の交流を高め、地域の振興に寄与している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	0,973人	1,429人	1,253人	1,965人	2,187人
対前年比率	68.1%	114.0%	63.8%	89.8%	101.4%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	2,157人	1,880人	2,135人	1,704人	1,384人
対前年比率	114.7%	88.1%	125.3%	123.1%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖等はなかったものの、利用控えの影響により利用者数が落ち込んだ。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	151.1	昨年度 実績値 147
	②令和元年度まではほぼ均衡を保っていたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖や利用控えの影響を受け、利用者数も大きく落ち込んでいる。		利用料金	31.7	実績値 270
			自主事業	0.0	増減 123

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・利用者に対する指定管理者の配慮がありがたい。
	苦情	・エアコンが故障している。 (エアコンの故障について、市で予算化検討中。)
改善の姿勢	・施設の不具合や破損箇所については、指定管理者で随時経過観察し、その状況を市へ報告している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。			○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		◎	事業計画書における未実施の事業はなかったか。			○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		◎	管理物件の滅失又は損傷はなかったか。			○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		○	権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。			○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		△	報告・提出書類の期日は守られていたか。			○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		○	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。			○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。			○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。			○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		○	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。			○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。		△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		

②所見

◆総合評価について
(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね良好に管理運営がなされていた。
- ②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
- ③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。
- ④コロナ禍による利用者控えにより、利用者数の改善はみられなかった。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市立共同利用施設津和田センター			
指定管理者名	津和田自治会			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36 / 39	92.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	12 / 12	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	19 / 20	95.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	56 / 59	94.9%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
8,828	計画値	86.9%	0.0%	241,574	241,574	
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	90.2%	0.0%	241,574	232,746	
3.65%	増減	3.3%	0.0%	0	-8,828	

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに用務を遂行し、安全かつ安定した施設管理がなされる。	各種会合やサークルの活動などの場を提供することにより、地域住民の交流を高め、地域の振興に寄与している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	0,454人	0,417人	0,430人	1,350人	1,621人	
対前年比率	108.9%	97.0%	31.9%	83.3%	105.9%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	1,530人	2,016人	1,145人	1,099人	0,949人	
対前年比率	75.9%	176.1%	104.2%	115.8%		
指定期間	●	●	●	●		
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖等もなく、指定管理者の努力により、利用者数は前年度と比較して若干ではあるが増加がみられた。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	462.6	昨年度 実績値	579
	②令和元年度まではほぼ均衡を保っていたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖や利用控えの影響を受け、利用者数も大きく落ち込んでいる。		利用料金	0.0	実績値	513
			自主事業	0.0	増減	▲ 66

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・地域に根ざした利用しやすい施設である。
	苦情	・窓のレバーが硬くて開閉しづらい。
改善の姿勢	・施設の不具合や破損箇所については、指定管理者で随時経過観察し、その状況を市へ報告している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	△		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)	
①概ね良好に管理運営がなされていた。	
②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。	
③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。	
④利用者数は、コロナ渦以前までとはならないが前年度と比較して若干ではあるが増加の傾向がみられた。	

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市立共同利用施設月見ヶ丘6次センター			
指定管理者名	月見ヶ丘第6区自治会			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36 / 39	92.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	8 / 8	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	19 / 20	95.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	55 / 59	93.2%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
24,766	計画値	78.6%	0.0%	267,073	267,073	
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	86.7%	0.0%	267,073	242,307	
9.27%	増減	8.0%	0.0%	0	-24,766	

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに用務を遂行し、安全かつ安定した施設管理がなされる。	各種会合やサークルの活動などの場を提供することにより、地域住民の交流を高め、地域の振興に寄与している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	0,287人	0,156人	1,911人	3,691人	4,397人	
対前年比率	184.0%	8.2%	51.8%	83.9%	90.3%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	4,871人	4,571人	5,003人	4,458人	4,480人	
対前年比率	106.6%	91.4%	112.2%	99.5%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖等もなく、指定管理者の努力により、利用者数は前年度と比較して増加がみられた。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	731.7	昨年度 実績値	2,263
	②令和元年度まではほぼ均衡を保っていたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖や利用控えの影響を受け、利用者数も大きく落ち込んでいる。		利用料金	88.8	実績値	844
			自主事業	0.0	増減	▲ 1,419

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・徒歩圏内にあり、利用しやすい施設である。
	苦情	・エアコンが故障している。 ・玄関ドアの取手が外れかけている。
改善の姿勢	・施設の不具合や破損箇所については、指定管理者で随時経過観察し、その状況を市へ報告している。 (エアコン及び玄関ドア取手の故障について、市で予算化検討中。)	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	◎		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	△	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- 概ね良好に管理運営がなされていた。
- 協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
- 大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。
- 利用者数は、コロナ渦以前までとはならないが前年度と比較して増加の傾向がみられた。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市立共同利用施設ひえだセンター			
指定管理者名	ひえだ第一苑自治会			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36.5 / 39	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	12 / 12	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	18 / 20	90.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	56 / 59	94.9%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
13,228	計画値	77.9%	0.0%	352,963	352,963	
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	80.9%	0.0%	352,964	339,736	
3.75%	増減	3.0%	0.0%	1	-13,227	

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに用務を遂行し、安全かつ安定した施設管理がなされる。	各種会合やサークルの活動などの場を提供することにより、地域住民の交流を高め、地域の振興に寄与している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	1,879人	1,804人	1,911人	3,691人	4,397人	
対前年比率	104.2%	94.4%	51.8%	83.9%	90.3%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	4,871人	4,571人	5,003人	4,458人	4,480人	
対前年比率	106.6%	91.4%	112.2%	99.5%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖等もなく、指定管理者の努力により、利用者数は前年度と比較して増加がみられた。 ②令和元年度まではほぼ均衡を保っていたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖や利用控えの影響を受け、利用者数も大きく落ち込んでいる。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度 実績値	196
			利用料金	0.0	実績値	181
			自主事業	0.0	増減	▲ 15

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・空調の整った多様な部屋があり、利用しやすい。
	苦情	・玄関のドアが激しく閉まるので危ない。 ・和室の畳に凹みがある。
改善の姿勢	・施設の不具合や破損箇所については、指定管理者で随時経過観察し、その状況を市へ報告している。 (玄関ドアの故障について、市で予算化検討中。)	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	◎		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	△	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)	
①概ね良好に管理運営がなされていた。	
②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。	
③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。	
④利用者数は、コロナ渦以前までとはならないが前年度と比較して増加の傾向がみられた。	

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市立共同利用施設空港南センター				
指定管理者名	空港苑自治会				
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法	非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	35 / 36	97.2%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36 / 39	92.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	14 / 16	87.5%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	11 / 12	91.7%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	18 / 20	90.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	56 / 59	94.9%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
4,987	計画値	96.0%	0.0%	241,575	241,575	
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	98.1%	0.0%	241,575	236,588	
2.06%	増減	2.0%	0.0%	0	-4,987	

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに用務を遂行し、安全かつ安定した施設管理がなされる。	各種会合やサークルの活動などの場を提供することにより、地域住民の交流を高め、地域の振興に寄与している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	0,650人	0,484人	0,424人	1,407人	1,453人
対前年比率	134.3%	114.2%	30.1%	96.8%	94.2%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	1,543人	1,870人	1,857人	1,973人	2,251人
対前年比率	82.5%	100.7%	94.1%	87.6%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖等もなく、指定管理者の努力により、利用者数は前年度と比較して増加がみられた。		利用者1人あたりからの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 499
	②令和元年度まではほぼ均衡を保っていたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖や利用控えの影響を受け、利用者数も大きく落ち込んでいる。		利用料金	0.0	実績値 364
			自主事業	0.0	増減 ▲ 135

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・設備が充実しており、利用しやすい施設である。
	苦情	・カーテンが破けている。
改善の姿勢	・施設の不具合や破損箇所については、指定管理者で随時経過観察し、その状況を市へ報告している。(カーテンの破損について、市が対応済み。)	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	◎		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	△	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね良好に管理運営がなされていた。
- ②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
- ③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。
- ④利用者数は、コロナ渦以前までとはならないが前年度と比較して増加の傾向がみられた。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(環境政策課)

施設名称	宮崎市立共同利用施設柳籠センター			
指定管理者名	恒久柳籠自治会			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36 / 39	92.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	8 / 8	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	11 / 12	91.7%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	19 / 20	95.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	56 / 59	94.9%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
3,353	計画値	85.5%	0.0%	245,599	245,599	
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	86.7%	0.0%	245,599	242,246	
1.37%	増減	1.2%	0.0%	0	-3,353	

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに用務を遂行し、安全かつ安定した施設管理がなされる。	各種会合やサークルの活動などの場を提供することにより、地域住民の交流を高め、地域の振興に寄与している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	0,595人	0,279人	0,346人	0,860人	0,964人
対前年比率	213.3%	80.6%	40.2%	89.2%	102.8%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	0,938人	0,992人	1,038人	0,516人	2,251人
対前年比率	94.6%	95.6%	201.2%	22.9%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖等もなく、指定管理者の努力により、利用者数は前年度と比較して増加がみられた。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	352.9	昨年度 実績値 851
	②令和元年度まではほぼ均衡を保っていたが、令和2年度から新型コロナウイルス感染拡大防止対策に伴う施設の閉鎖や利用控えの影響を受け、利用者数も大きく落ち込んでいる。		利用料金	6.8	実績値 407
			自主事業	0.0	増減 ▲ 444

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・利用者に対する指定管理者の配慮がありがたい。
	苦情	・カーテンが破けている。
改善の姿勢	・施設の不具合や破損箇所については、指定管理者で随時経過観察し、その状況を市へ報告している。 (カーテンの破損について、市が対応済み。)	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね良好に管理運営がなされていた。
- ②協定事項を逸脱するような問題点はなかった。
- ③大きな繰越金や繰出金もなく、概ね適正であった。
- ④利用者数は、コロナ渦以前までとはならないが前年度と比較して増加の傾向がみられた。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(福祉総務課)

施設名称	宮崎市総合福祉保健センター				
指定管理者名	社会福祉法人宮崎市社会福祉協議会				
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法	非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-2,064,610	計画値	23.7%	26.6%	87,604,000	87,604,000	24,145,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	22.9%	25.3%	87,604,000	89,668,610	30,397,072
-2.36%	増減	-0.8%	-1.3%	0	2,064,610	6,252,072

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに事業を実施・展開することにより、市民の福祉の増進や、福祉活動の促進が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。
自主事業	事業計画どおりに実施し、市民への福祉サービスの向上が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
利用者数	22,475人	16,892人	18,468人	44,112人	50,941人		
対前年比率	133.1%	91.5%	41.9%	86.6%	96.3%		
指定期間	●	●	●	●	●		
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
利用者数	52,911人	53,705人	56,157人	59,136人	58,423人		
対前年比率	98.5%	95.6%	95.0%	101.2%			
指定期間	●	●	●	●		●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策により施設の休館や活動制限があったが、令和4年度は前年度に比べて制限が緩和されたため、利用者数が増加傾向にある。 ②新型コロナウイルス感染症に関する影響等により、令和元年度以降は利用者数が減少傾向にあったが、令和4年度は感染拡大防止策が緩和傾向にあったことから利用者数が増加し、平成25年度の半数程度までに回復した。			利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
				使用料	0.0	昨年度 実績値	3,990
				利用料金	0.0	実績値	3,990
				自主事業	0.0	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・職員の対応が親切である。 ・地域の方同士で交流することができ喜びを感じる。
	苦情	・施設内に設置してある消毒液が空になっていたことがあったので、常に補充してほしい。
改善の姿勢	・利用者の意見を受け、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策(消毒液補充等)を徹底するようにした。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①常に市への報告がなされており、市の福祉・保健の中核施設としての管理運営がなされている。
 ②遺漏なく適正に実施されている。
 ③計画どおりに執行されている。
 ④新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策により休館や活動制限を行った時期があったものの、全体的に制限が緩和されたことにより利用者は増加傾向に転じた。

令和

4 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(福祉総務課)

施設名称	宮崎市佐土原地域福祉センター		
指定管理者名	社会福祉法人宮崎市社会福祉協議会		
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31
	選定方法		非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-503, 147	計画値	22. 4%	20. 9%	14, 450, 000	14, 450, 000	4, 000, 000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	21. 2%	21. 8%	13, 745, 264	14, 248, 411	3, 958, 566
-3. 66%	増減	-1. 2%	0. 9%	-704, 736	-201, 589	-41, 434

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに事業を実施・展開することにより、市民の福祉の増進や、福祉活動の促進が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。
自主事業	事業計画どおりに実施し、市民への福祉サービスの向上が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
利用者数	9,740人	6,810人	3,131人	14,225人	20,789人		
対前年比率	143.0%	217.5%	22.0%	68.4%	89.1%		
指定期間	●	●	●	●	●		
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
利用者数	23,325人	27,980人	35,748人	32,301人	36,235人		
対前年比率	83.4%	78.3%	110.7%	89.1%			
指定期間	●	●	●	●		●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策により施設の休館や活動制限があったが、令和4年度は前年度に比べて制限が緩和されたため、利用者数が増加傾向にある。 ②年々利用者数が減少傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和2年以降は大幅に利用者が減った。令和4年度は前年よりも増加傾向にはあるものの、平成25年度の4分の1に留まっている。			利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)	
				使用料	0.0	昨年度実績値	1,463
				利用料金	0.0	実績値	1,463
				自主事業	0.0	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・職員に対しての苦情などはない。
	苦情	・浴室の水温について要望があったが。(「ぬるい」「熱い」等)
改善の姿勢	・適宜、必要に応じ利用者に対して丁寧な説明を行い、納得していただいた。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①常に市への報告がなされており、佐土原地域の福祉保健の中核施設として適切に管理運営がなされている。
 ②遺漏なく適正に実施されている。
 ③光熱費の削減や、新型コロナウイルス感染症の対策による休館等に伴い、指定管理料の清算を行った。その他の事業収支については、計画どおりに執行されている。
 ④新型コロナウイルス感染症対策として休館や活動制限を行った時期があったものの、全体的に制限が緩和されたことにより利用者は昨年度よりもさらに増加傾向にある。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(福祉総務課)

施設名称	宮崎市田野総合福祉館			
指定管理者名	社会福祉法人宮崎市社会福祉協議会			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22 / 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,059,236	計画値	9.2%	18.3%	38,395,000	38,395,000	12,852,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	11.3%	18.3%	37,061,659	36,002,423	10,176,705
2.86%	増減	2.1%	0.0%	-1,333,341	-2,392,577	-2,675,295

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに事業を実施・展開することにより、市民の福祉の増進や、福祉活動の促進が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。
自主事業	事業計画どおりに実施し、市民への福祉サービスの向上が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	47,535人	26,148人	36,253人	76,170人	81,624人
対前年比率	181.8%	72.1%	47.6%	93.3%	109.8%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	74,308人	68,469人	76,380人	72,986人	74,031人
対前年比率	108.5%	89.6%	104.7%	98.6%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策により施設の休館や活動制限があったが、令和4年度は前年度に比べて制限が緩和されたため、利用者数が増加傾向にある。		利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）
			使用料	0.0	昨年度実績値 757
	②新型コロナウイルス感染症に関する影響等により、令和元年度以降は利用者数が減少傾向にあったが、令和4年度は感染拡大防止策が緩和傾向にあったことから利用者数が増加し、平成25年度の65%程度までに回復した。		利用料金	13.4	実績値 757
			自主事業	0.0	増減 0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・特になし
	苦情	・特になし
改善の姿勢	・目安箱を設置し、利用者の要望を収集できるようにしているが、あまり要望等はない。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

（①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況）

- ①常に市への報告がなされており、田野地域の福祉・保健の中核施設として適切に管理運営がなされている。
 ②遺漏なく適正に実施されている。
 ③新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策による休館等に伴い、指定管理料の清算を行った。その他の事業収支については、概ね計画どおりに執行されている。
 ④休館や活動制限を行った時期があったものの、全体的に制限が緩和されたことにより利用者は増加傾向に転じた。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(福祉総務課)

施設名称	宮崎市清武総合福祉センター		
指定管理者名	社会福祉法人宮崎市社会福祉協議会		
指定期間	2022.4.1	～	2026.3.31
選定方法	非公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	41 / 43	95.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,509,421	計画値	9.5%	16.5%	33,261,000	33,261,000	12,602,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	9.7%	18.9%	29,843,022	28,333,601	10,245,110
5.06%	増減	0.2%	2.3%	-3,417,978	-4,927,399	-2,356,890

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに事業を実施・展開することにより、市民の福祉の増進や、福祉活動の促進が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。
自主事業	事業計画どおりに実施し、市民への福祉サービスの向上が図られた。	地域福祉の増進や障害者等の社会参加の促進に寄与している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
利用者数	10,622人	14,195人	18,049人	36,571人	40,115人		
対前年比率	74.8%	78.6%	49.4%	91.2%	102.4%		
指定期間	●	●	●	●	●		
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
利用者数	39,189人	42,889人	37,511人	36,912人	34,980人		
対前年比率	91.4%	114.3%	101.6%	105.5%			
指定期間	●	●	●	●		●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止策により施設の休館や活動制限があったため、令和2年度以降利用者は減少傾向にある。令和4年度は前年度に比べて制限が緩和されたものの、未だ利用者数は増えていない。 ②例年4万人程度前後を推移していた利用者数だが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けてから、利用者数は激減。令和4年度はさらに修繕工事を行ったため、平成25年度の3程度にまで減少。			利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
				使用料	0.0	昨年度 実績値	2,667
				利用料金	1.8	実績値	2,667
				自主事業	0.0	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・施設職員の対応がとても丁寧である。 ・夜間等も利用ができるので助かる。
	苦情	・「給食室での食事を購入したい。」等の要望があった。
改善の姿勢	・意見箱を設置し、適宜利用者の意見を収集、施設運営に生かしている。 ・要望等についても丁寧に聞き取り、説明を行うようにしている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

①常に市への報告がなされており、清武地域の福祉・保健の中核施設として適切に管理運営がなされている。②遺漏なく適正に実施されている。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(福祉総務課・工業政策課)

施設名称	宮崎市北部老人福祉センター・宮崎市青少年プラザ			
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社 九州・沖縄支店			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 公募

2 モニタリング項目

①実地調査

宮崎市北部老人福祉センター

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおりに管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負っていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査

宮崎市青少年プラザ

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおりに管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	38	／ 40	95.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	14	／ 15	93.3%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22	／ 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負っていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,360,235	計画値	56.4%	12.6%	40,500,000	40,500,000	7,260,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	50.1%	10.8%	46,816,773	45,456,538	7,678,293
2.91%	増減	-6.3%	-1.8%	6,316,773	4,956,538	418,293

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画通りに実施し、市民の交流や福祉の向上及び健康の維持増進、勤労青少年の教養・福祉の増進が図られた。	地域や利用者の実情に応じた運営を行うことで、地域福祉に寄与した。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	113,185人	74,361人	71,348人	137,455人	148,347人
対前年比率	152.2%	104.2%	51.9%	92.7%	99.0%
指定期間	●	●			
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	149,868人	172,942人	156,748人	126,046人	119,972人
対前年比率	86.7%	110.3%	124.4%	105.1%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルスの影響による休館や利用制限が前年度と比較して少なかったことから、増加している。			利用者1人あたりの収入（客単価）	
				使用料	0.0
	②新型コロナウイルス感染症の影響が和らいだことから、コロナ禍前の水準に戻りつつある。			利用者1人あたりの管理運営経費	
				利用料金	47.0
			自主事業	4.7	増減 ▲ 122

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(宮崎市北部老人福祉センター) ・脳トレが楽しい。 ・清掃職員が、いつも一生懸命掃除しているので感心する。 ・毎日楽しく利用させてもらっている。
	苦情	(宮崎市青少年プラザ) ・平日夜にこういう場(講座)があるのはとてもありがたいです。県外から越してきて交流にもなり、楽しいです。 ・先生が丁寧に教えて下さり、初心者でも楽しいです。
改善の姿勢		(宮崎市北部老人福祉センター) ・多くの方が楽しく利用できるようにしてください。トラブルにならないよう張り紙をしてください。
		(宮崎市青少年プラザ) ・卓球台を増やしてほしい。 ・40才(講座の対象年齢)は変わらないのでしょうか。
(宮崎市北部老人福祉センター) ・利用者間のトラブル等については、施設職員が適宜適切に対処している。		
(宮崎市青少年プラザ) ・利用者からのアンケートや意見等を踏まえ、利用者のニーズに合った講座を開催している。		

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

(宮崎市北部老人福祉センター)

- ・高齢者の生きがい支援施設として概ね適正に管理運営されているが、収支計画に一部未計上のものがあつたため、当初の段階で把握しているものについては、遺漏なく予算計上されたい。
- ・利用状況については、前年度と比較して増加に転じており、今後も一定の水準まで回復が見込まれる。

(宮崎市青少年プラザ)

- ・利用者からの苦情もなく、適切な管理運営を行っている。
- ・収支計画に一部未計上のものがあつたため、当初の段階で把握しているものについては、遺漏なく予算計上されたい。
- ・勤労者のニーズに沿った講座を構築する等、引き続き利用者の確保に努める必要がある。
- ・複数施設間で職員の配置を適切に行うことにより、経費の削減を実現している。

令和

4 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課 (福祉総務課、スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市南部老人福祉センター、宮崎市赤江老人福祉センター、 宮崎市赤江運動広場、宮崎市住吉老人いこいの家、 宮崎市古城老人いこいの家			
指定管理者名	社会福祉法人宮崎市社会福祉事業団			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 公募

2 モニタリング項目

①実地調査 宮崎市南部老人福祉センター

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対する説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22	／ 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査 宮崎市赤江老人福祉センター、宮崎市赤江運動広場

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	30	／ 32	93.8%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対する説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22	／ 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

宮崎市住吉老人いこいの家

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32	／ 32	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

宮崎市古城老人いこいの家

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32	／ 32	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,949,008	計画値	49.1%	20.9%	53,304,000	53,304,000	8,622,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	49.3%	20.5%	53,295,050	51,346,042	8,360,753
3.66%	増減	0.3%	-0.3%	-8,950	-1,957,958	-261,247

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画通りに実施し、市民の交流や、福祉の向上及び健康の維持増進が図られた。	地域や利用者の実情に応じた運営を行うことで、地域福祉に貢献した。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	45,348人	32,988人	38,865人	75,803人	90,935人
対前年比率	137.5%	84.9%	51.3%	83.4%	97.7%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	93,118人	96,099人	91,124人	92,787人	91,461人
対前年比率	96.9%	105.5%	98.2%	101.4%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルスの影響による休館や利用制限が前年度と比較して少なかったことから、増加している。		利用者1人あたりからの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0.0	昨年度実績値 1,977
	②新型コロナの影響で激減している。		利用料金	0.0	実績値 1,132
			自主事業	0.0	増減 ▲ 845

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(宮崎市南部老人福祉センター) ・職員が親切で気軽に利用できる。 (宮崎市赤江老人福祉センター) ・サークル活動が楽しく、友達も作れる。 (宮崎市住吉老人いこいの家) ・芝生や花がきれいに管理されている。 (宮崎市古城老人いこいの家) ・浴室の管理がしっかりされている。
	苦情	(宮崎市南部老人福祉センター) ・休館があったので、もっと利用したかった。 (宮崎市赤江老人福祉センター) ・利用時間を長くしてほしい。 ・日曜・祝祭日(休館日)に開館してほしい。 (宮崎市住吉老人いこいの家) ・特になし。 (宮崎市古城老人いこいの家) ・特になし。
改善の姿勢	(宮崎市南部老人福祉センター) ・新型コロナウイルスの影響で一時休館した期間があったが、今後は感染症対策を講じながらも、可能な限り施設サービスを継続するよう努める。 (宮崎市赤江老人福祉センター) ・開館時間の延長等は、あらかじめ市長の承認を得れば可能であるため、イベント等の特別かつ一時的な事由に関し、その必要性を検討する。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	◎		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

- ・概ね期待通りの管理運営が行われている。
- ・計画通りの事業が実施されており、健全な事業収支が保たれている。
- ・利用状況については、前年度と比較して増加に転じており、今後も一定の水準まで回復が見込まれる。
- ・複数施設間で職員の配置を適切に行うことにより、経費の削減を実現している。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(福祉総務課)

施設名称	宮崎市大塚台地域福祉コミュニティセンター			
指定管理者名	大塚台地区社会福祉協議会			
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31	選定方法 非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	41 / 43	95.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	30 / 32	93.8%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 25	64.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64 / 67	95.5%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
7,880	計画値	71.1%	0.0%	1,702,000	1,702,000	70,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	71.7%	0.0%	1,702,003	1,694,123	23,845
0.46%	増減	0.6%	0.0%	3	-7,877	-46,155

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	計画どおり実施し、地域における福祉活動を推進することにより、住民相互のふれあいを深め、社会福祉の向上が図られた。	地域保健・福祉対策の推進に寄与した。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	6,426人	4,808人	5,435人	11,224人	14,086人	
対前年比率	133.7%	88.5%	48.4%	79.7%	100.7%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	13,990人	14,508人	14,213人	13,376人	12,754人	
対前年比率	96.4%	102.1%	106.3%	104.9%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルスの影響による休館や利用制限が前年度と比較して少なかったことから、増加している。		利用者1人あたりからの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度実績値	354
	②新型コロナの影響で激減している。		利用料金	0.0	実績値	264
			自主事業	0.0	増減	▲ 90

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・他の施設と違って、気軽に利用できる。
	苦情	・マスクを付けていない利用者がある。
改善の姿勢	・マスクについては、新型コロナウイルスの5類移行以前であったため、着用をお願いをした。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。		○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		○		報告・提出書類の期日は守られていたか。		○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。		○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。		○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

①管理運営の状況

大塚台地域福祉の拠点として、多くの住民に利用されている。地域に根ざした地区社協の特性を生かしながら、概ね適正に管理運営されている。

②協定事項

管理業務、法定点検等、遺漏なく適正に実施している。

③事業収支

概ね適正に管理されている。

④利用状況

前年度と比較して増加に転じており、今後も一定の水準まで回復が見込まれる。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(福祉総務課)

施設名称	宮崎市高岡老人福祉館「百寿荘」		
指定管理者名	社会福祉法人慶明会		
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	34 / 36	94.4%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21 / 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	65 / 71	91.5%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-427,899	計画値	60.2%	5.0%	7,924,000	8,297,000	1,116,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	59.5%	5.8%	7,948,019	8,375,918	1,123,392
-5.38%	増減	-0.8%	0.8%	24,019	78,918	7,392

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	計画どおり実施し、高齢者の心身の健康及び福祉の増進が図られた。	地域保健・福祉対策の推進に寄与した。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	3,110人	1,829人	1,998人	4,003人	3,891人
対前年比率	170.0%	91.5%	49.9%	102.9%	53.5%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	7,269人	3,953人	6,704人	7,136人	9,102人
対前年比率	183.9%	59.0%	93.9%	78.4%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルスの影響による休館や利用制限が前年度と比較して少なかったことから、増加している。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 4,230
	②新型コロナの影響で激減している。		利用料金	0.0	実績値 2,693
			自主事業	0.0	増減 ▲ 1,537

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・清潔で明るい。 ・マスクを忘れて困っていたら職員さんが準備してくれて助かった。 ・本棚の本を入れ替えてくれて良かった。
	苦情	・テレビの調子が悪いので早く直してほしい。 ・浴槽のお湯がぬるくて寒かった。 ・浴室鏡の水垢がひどいので鏡を交換してほしい。
改善の姿勢	・テレビについては、立地の関係上電波が入りづらいのが問題であるが、アンテナの向きの調整で改善された。 ・浴槽のお湯については、湯温を定期的に確認する対応を徹底した。 ・水垢については、専用の液剤にて洗浄しており、今後も定期的にも実施予定。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。		△
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○	事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○	管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○	権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	◎	報告・提出書類の期日は守られていたか。		○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。		△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

①管理運営の状況

高岡地域を中心とした住民の高齢者の生きがい支援施設として概ね適正に管理運営されている。ホームページも充実し、施設の情報発信に役立てられている。

②協定事項

再委託承認を得ていない業務があったが、管理業務、法定点検等については遺漏なく適正に実施している。

③事業収支

物価高騰により収支にマイナスが生じている。

④利用状況

前年度と比較して増加に転じており、今後も一定の水準まで回復が見込まれる。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(地域包括ケア推進課)

施設名称	宮崎市養護老人ホーム清流園		
指定管理者名	社会福祉法人日向更生センター		
指定期間	2020.4.1	～	2025.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-1,257,970	計画値	61.2%	11.0%	169,047,000	166,023,000	15,019,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	60.9%	11.0%	165,749,358	167,007,328	17,993,877
-0.76%	増減	-0.3%	-0.0%	-3,297,642	984,328	2,974,877

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、入所者に対する適切なサービスの提供が行われた。	
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	17,946人	17,832人	18,119人	17,022人	16,934人	
対前年比率	100.6%	98.4%	106.4%	100.5%	99.0%	
指定期間	●	●	●			
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	17,100人	17,088人	16,904人	17,027人	16,868人	
対前年比率	100.1%	101.1%	99.3%	100.9%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①利用者数は宮崎市措置者の延べ入所日数。当該施設は市町村が入所を決定する措置施設である。退所者が発生した場合、速やかに待機者に入所案内を行うが、入所するまでに待機者の事情で時間がかかることがあり、増減が発生する。 ②9年前と比べて入所者数に大きな変動はない。上記と同様に、入所までの調整によって増減が発生する。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度 実績値	9,097
			利用料金	5,663.0	実績値	9,306
			自主事業	2,785.1	増減	209

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	指定管理者が年に1度、入所者を対象に行っているアンケートでは、入所者50名のうち48名から回答を得ている。その中で食事、入浴、洗面所・トイレ(清掃状況など)、職員(身だしなみ、言葉遣い)の各項目において、昨年同様、概ね高評価が得られている。
	苦情	令和4年度苦情相談件数・・・7件
改善の姿勢	高齢化や心身機能の低下のため相談事があっても伝えることができない入所者が多いなか、コミュニケーションを密にとることで、できる限り気持ちを汲み取る対応を行っている。また、第三者委員に必要に応じて協力を求めるなど、職員に直接言いにくい苦情、相談にも対応している。 また、施設雰囲気や人間関係についても、個々の心身の状況を把握しコミュニケーションを十分にとることで安心して生活できる環境を更に整備していくよう努められている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
当該施設は市町村の措置により、環境上の理由及び経済的理由により居宅において養護を受けることが困難な高齢者を入所させ、養護する老人福祉施設である。その目的を十分に理解し、概ね適正な施設運営及び管理がなされている。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(保育幼稚園課)

施設名称	東高岡保育所		
指定管理者名	社会福祉法人公成福祉会		
指定期間	2020.4.1	～	2025.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 47	91.5%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	23 / 25	92.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64 / 67	95.5%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
3,907,419	計画値	80.0%	1.0%	99,349,038	94,199,879	1,920,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	81.9%	1.1%	94,410,249	90,502,830	1,860,078
4.14%	増減	1.9%	0.1%	-4,938,789	-3,697,049	-59,922

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、定員以上の入所者があった。	高岡地域の保育の受け皿となっている。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	0,683人	0,683人	0,722人	0,713人	0,702人
対前年比率	100.0%	94.6%	101.3%	101.6%	103.5%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	0,678人	0,690人			
対前年比率	98.3%				
指定期間	●	●			
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①利用者数について増減はしていないが、定員を上回る利用者を確保している。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 135,334
	②少子化の影響で減少しているが、定員を上回る利用者を確保している。		利用料金	1,669.7	実績値 132,508
			自主事業	0.0	増減 ▲ 2,826

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	利用者アンケートの結果、97%以上の世帯から、「東高岡保育所の運営に満足している」との評価を受けている。
	苦情	
改善の姿勢	今後も、園全体で子どもたちひとり一人の情報の共有、共通理解を深め、保育の質の向上を図っていく。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	◎
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	◎		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
- 概ね期待通りの管理運営が行われている。 - 運営に対する保護者からの評価も高く、常に定員を上回る利用者数を確保していることは、評価すべき点である。 - 今後も、市と指定管理者間で連携を図りながら、質の高い保育を提供できるよう努めていきたい。

令和

4 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(子育て支援課)

施設名称	宮崎市清武地域子育て支援センター		
指定管理者名	社会福祉法人清武社会福祉会		
指定期間	2022.4.1	～	2026.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	14 / 15	93.3%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	23 / 25	92.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	70 / 71	98.6%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-1,117,132	計画値	88.8%	0.4%	10,777,000	15,132,000	0
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	89.6%	0.4%	12,316,023	13,433,155	0
-9.07%	増減	0.8%	-0.0%	1,539,023	-1,698,845	0

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	・事業計画どおり実施し、子育て親子の交流の場を提供し、利用者同士の交流を支援するなど、地域の子育て支援の充実を図ることができた。	・地域において子育て親子の交流を促進する子育て支援拠点の設置により、地域の子育て支援の充実を図ることができている。 ・地域の民生委員・児童委員や地域の関係団体等と、地域との交流を目的とし、大きな行事(運動会、子育てまつり)に参加してもらい、一緒に運営を行っている。
自主事業	・定期的にイベントを開催することにより、子育て親子の交流の促進が図られ、また、子育て親子と地域を結び付けるきっかけの場となった。	・郷土の儒学者を知る子育て親子向けの講座を実施している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	8,698人	7,746人	9,266人	12,195人	11,796人	
対前年比率	112.3%	83.6%	76.0%	103.4%	91.4%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	12,903人	18,205人	18,608人	19,419人	17,872人	
対前年比率	70.9%	97.8%	95.8%	108.7%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症による利用者の利用控えはあるが、休館はなかったため、利用者数は増加している。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)	
			使用料	0.0	昨年度実績値	1,572
	②近年、利用者数が増加傾向であったが、新型コロナウイルス感染症による利用者の利用控えにより、近年利用者が減少している。		利用料金	0.0	実績値	1,544
			自主事業	0.0	増減	▲ 28

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・自動ドアの開閉の管理がしっかりされている。先生方が子どもたちと一緒に見守ってくださるので、安心して過ごせる。 ・いつも清潔で、トイレもお部屋もきれい。おもちゃを丁寧に消毒している。 ・先生が温かく子育ての相談がしやすい。私(親)の癒しの場になっており、子どもも楽しそうで嬉しい。 ・親子講座のアイデアがすごい。毎回楽しみにしており、とてもためになっている。
	苦情	・清武地域子育て支援センターではお礼口さんにしていなければならないと感じる。たとえば、お昼ご飯の際、座って食べられない子どもへ、遠くから大きな声で何度も注意することがあった。
改善の姿勢	ご意見に対し、施設長を中心に真摯に対応していた。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	◎
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	◎
	施設の安全管理は適正になされていたか。	◎		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	◎
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	◎
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	◎		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	◎		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

・概ね期待どおりの管理運営が行われている。
・講座やイベントについては、指定管理者の創意工夫により、利用者から好評を得られている。
・事業収支について、適切な運営がなされている。
・利用状況について、新型コロナウイルス感染症の影響で利用控えはあるものの、昨年度より増加している。更なる施設の利用促進に向けた取組について検討願いたい。

1 基本情報

施設所管課

(子育て支援課)

施設名称	宮崎市霧島児童館外4館		
指定管理者名	(社福)宮崎市社会福祉事業団		
指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 (霧島児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対する説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25 / 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

①実地調査 (栄町児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対する説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25 / 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

①実地調査 (大島児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25 / 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

①実地調査 (平和が丘児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	14 / 15	93.3%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	24 / 25	96.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

①実地調査 (樟児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25 / 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,862,960	計画値	77.4%	3.4%	45,927,000	45,715,000	2,232,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	79.3%	3.5%	46,347,208	44,484,248	1,975,156
4.02%	増減	1.9%	0.1%	420,208	-1,230,752	-256,844

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	適切に実施された。	地域住民を参画してのイベント等で、地域貢献や地域活性化が図られた。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	38,597人	28,118人	21,470人	46,287人	53,800人
対前年比率	137.3%	131.0%	46.4%	86.0%	99.3%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	54,171人	60,607人	63,484人	56,249人	53,999人
対前年比率	89.4%	95.5%	112.9%	104.2%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①令和3年度は新型コロナによる閉館（約3ヵ月）等の影響があったものの、令和4年1月からは感染対策を講じて開所する方針になり、閉館が無かったことから、前年比では増加した。 ②少子化が進む中で利用者数は維持していたが、新型コロナの影響で、令和2年度以降は減少している。		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0.0	昨年度実績値
			利用料金	0.0	実績値
			自主事業	0.0	増減
					▲ 424

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(霧島)家庭ではできないような体験を児童館でできており、子どもも児童館に行くのを楽しみにしている。子育て中の親子同士の交流や子育てに関する悩みを相談することができ、子育て不安感の緩和等が図れている。 (栄町)いつも子どもたちのために楽しい講座や企画をありがたい。行事が楽しかったので、また来年もしてほしい。エアコンが付いたのでとても快適になった。 (大島)駐車場がすぐとなりで利用しやすい。大きな公園に隣接し、自然環境に恵まれている。(イベント時において)子育てに関する話は10代の内に聞ける機会がないのでいいイベントだと思った。ボランティアに参加し、赤ちゃんを間近に見て親子の絆を感じた。小学生や地域の皆さんと交流し、将来に活かせる行事だった。 (平和が丘)遊具等が重質していて子どもたちを遊ばせるのに大変助かる。職員に活気があり、行事を盛り上げてくれるので楽しい。ウクレレ演奏ができるようになって嬉しい。 (穂)子どもに優しく接してくれるだけでなく、母親の話相手もしていただき感謝している。とても安心できる対応で楽しく、居心地よく通わせていただいた。館内外が常に整備され、花等が美しく気持ちがよい。
	苦情	(霧島)隣接駐車場がないため、不便である。新規登録者にとっては駐車場(近隣の公立大駐車場を駐車場として利用許可)が分かりづらいので案内する必要がある。(遊戯室にエアコンがないため)夏場が暑すぎる。 (栄町)駐車場がないため、不便である(雨天時は利用しづらい)。遊戯室にエアコンの設置をしてほしい。 (平和が丘)集会室にエアコンがないので夏場はとても暑かった。場所が分かりづらく、初めて来たときは場所を見つけるのに苦労した。分かりやすい看板をだしてほしい。授乳室があると助かる。開放時間の延長を考えてほしい。
改善の姿勢	(霧島)意見等については、その都度職員間で話し合い、できる限り対応している。施設面の要望は指定管理本部へ連絡している。 (栄町)意見等の内容および回答を館内に掲示したり、口頭で説明したりしている。 (大島)意見等については、職員間で話し合い、その回答を今後の事業に活かしている。 (平和が丘)できることは早急に改善、その他実現が難しい場合は懇切丁寧に説明し理解を求めている。案内看板は子育て支援課に要望している。授乳室については、自分たちで設置した。 (穂)意見箱の意見書については、回答をセンター内に掲示し、簡易な要望については随時反映している。予算を要する要望等については指定管理本部と協議しながら対応している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
①期待どおりの管理運営が行われている。 ②新型コロナの影響がある中、可能な範囲で適切に実施されている。 ③指定管理者の経営努力により、概ね適切である。 ④新型コロナの影響を受けたものの、感染対策を講じながら行事内容に工夫を凝らすことで、利用者確保に努めている。 ・新型コロナの感染拡大が見られる中、欠勤する職員を流動的に配置することで経費節減が図られた。 ・複数施設での共同イベントを実施することで、利用者確保が図られた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(子育て支援課)

施設名称	宮崎市恒久児童館外3館		
指定管理者名	(社福)宮崎市社会福祉事業団		
指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 (恒久児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71	／ 71	100.0%

①実地調査 (本郷児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71	／ 71	100.0%

①実地調査 (西原児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71	／ 71	100.0%

①実地調査 (木花児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16	／ 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	14	／ 15	93.3%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71	／ 71	100.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,857,127	計画値	76.2%	3.6%	37,847,000	37,952,000	2,486,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	77.1%	3.7%	37,843,170	35,986,043	2,137,772
4.91%	増減	0.9%	0.1%	-3,830	-1,965,957	-348,228

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	適切に実施された。	地域住民を参画してのイベント等で、地域貢献や地域活性化が図られた。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	37,583人	20,318人	21,240人	42,449人	43,688人	
対前年比率	185.0%	95.7%	50.0%	97.2%	104.7%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	41,744人	42,064人	44,876人	42,235人	37,900人	
対前年比率	99.2%	93.7%	106.3%	111.4%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①令和3年度は新型コロナによる閉館（約3ヵ月）等の影響があったものの、令和4年1月からは感染対策を講じて開所する方針になり、閉館が無かったことから、前年比では増加した。 ②少子化が進む中で利用者数は維持していたが、新型コロナの影響で、令和2年度以降は減少している。		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費	
			使用料	0.0	昨年度実績値	1,747
			利用料金	0.0	実績値	958
			自主事業	0.0	増減	▲ 789

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(恒久児童館)異世代交流ができて嬉しかった。不登校の児童受け入れから学校に復帰できた。保健師による子育て相談で不安感が解消された。 (本郷児童館)おばあちゃんと折り紙をして楽しかったので、またやりたい。知らなかったことを知ることができた。SDGsや食品ロスを学んだりでき、高校生とも遊べて楽しかった。 (西原児童センター)コロナ禍で子どもを連れていく所がないが、ここは安心して利用できる。冷暖房の設置により、より過ごしやすくなり有難い。 (木花児童センター)放課後や土曜日の遊び場としてとても助かっている。子どもの興味に寄り添い、汲み取ってもらい有難い。冷暖房がついて過ごしやすくなった。
	苦情	(恒久児童館)エアコンを設置してもらいたい。 (本郷児童館)児童館にあるエアコン等設備が使用(設置)されていない。 (西原児童センター)洋式トイレが男子トイレに欲しい。女子トイレに幼児用洋式トイレが欲しい。 (木花児童センター)児童館に行きたいが怖い人がいて行けない。
改善の姿勢	(恒久児童館)意見やトラブル等については、その都度職員間で解決策について協議し対応している。 (本郷児童館)意見等について職員間で話し合い、その回答を施設内に掲示している。 (西原児童センター)意見等について職員間で話し合い、その回答を施設内に掲示している。アンケートをもとに次年度の計画に反映させている。 (木花児童センター)意見等について職員間で話し合い、その回答を施設内に掲示している。緊急時は、本部事務局に相談している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。		○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○	事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○	管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○	権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	報告・提出書類の期日は守られていたか。		○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。		○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	想定した利用者数を確保できていたか。		○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○	利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
①期待どおりの管理運営が行われている。 ②新型コロナの影響がある中、可能な範囲で適切に実施されている。 ③指定管理者の経営努力により、概ね適切である。 ④新型コロナの影響を受けたものの、感染対策を講じながら行事内容に工夫を凝らすことで、利用者確保に努めている。 ・新型コロナの感染拡大が見られる中、欠勤する職員を流動的に配置することで経費節減が図られた。 ・複数施設での共同イベントを実施することで、利用者確保が図られた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(子育て支援課)

施設名称	宮崎市倉岡児童館外2館		
指定管理者名	(社福)宮崎市社会福祉事業団		
指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 (倉岡児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71	／ 71	100.0%

①実地調査 (大塚台児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71	／ 71	100.0%

①実地調査

(大塚児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71	／ 71	100.0%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
896,439	計画値	73.8%	4.0%	27,911,000	28,230,000	1,843,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	76.1%	4.2%	27,901,556	27,005,117	1,607,730
3.21%	増減	2.3%	0.2%	-9,444	-1,224,883	-235,270

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	適切に実施された。	地域住民を参画してのイベント等で、地域貢献や地域活性化が図られた。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	18,310人	12,518人	14,259人	21,296人	26,917人
対前年比率	146.3%	87.8%	67.0%	79.1%	99.4%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	27,085人	32,253人	30,745人	32,308人	32,353人
対前年比率	84.0%	104.9%	95.2%	99.9%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①令和3年度は新型コロナによる閉館（約3ヵ月）等の影響があったものの、令和4年1月からは感染対策を講じて開所する方針になり、閉館が無かったことから、前年比では増加した。 ②少子化が進む中で利用者数は維持していたが、新型コロナの影響で、令和2年度以降は減少している。		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0.0	昨年度実績値
			利用料金	0.0	実績値
			自主事業	0.0	増減
					2,043
					1,475
					▲ 568

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(倉岡児童館)新一年生と楽しくゲームして、とてもいい歓迎会になりました。(行事アンケートで)お母さんに素敵なプレゼントが渡せそうでうれしいです。 (大塚台児童センター)児童館が近くにあり、子どもが利用しやすい環境にあるため保護者としても安心である。コロナ感染状況を考慮すると、遊戯室が広くて安全に遊べるのが良かった。 (大塚児童センター)子育て交流広場にて、子育て中の親子同士の交流や子育てに関する悩みを相談することができ、ありがたいです。
	苦情	(大塚台児童センター)駐車場の台数が少なく、非常に駐車しにくい。児童センターの場所が分かりにくいのでもっと分かりやすいように地図等を掲載した案内版等を設置してほしい。
改善の姿勢	(倉岡児童館)意見等について職員間で話し合い、その回答を施設内に掲示している。 (大塚台児童センター)意見等について職員間で話し合い、その回答を施設内に掲示している。またすぐに対応できることは対応している。 (大塚児童センター)意見等について職員間で話し合い、その回答を施設内に掲示している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
①期待どおりの管理運営が行われている。
②新型コロナの影響がある中、可能な範囲で適切に実施されている。
③指定管理者の経営努力により、概ね適切である。
④新型コロナの影響を受けたものの、感染対策を講じながら行事内容に工夫を凝らすことで、利用者確保に努めている。
・新型コロナの感染拡大が見られる中、欠勤する職員を流動的に配置することで経費節減が図られた。
・複数施設での共同イベントを実施することで、利用者確保が図られた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(子育て支援課)

施設名称	宮崎市住吉児童センター外1館		
指定管理者名	特定非営利活動法人ドロップインセンター		
指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 (住吉児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67	／ 71	94.4%

①実地調査 (旭町児童館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25	／ 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67	／ 71	94.4%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,468,139	計画値	71.3%	3.0%	23,079,200	23,079,200	1,381,200
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	75.9%	3.0%	23,179,200	21,711,061	995,326
6.33%	増減	4.7%	0.0%	100,000	-1,368,139	-385,874

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	適切に実施された。	地域住民を参画してのイベント等で、地域貢献や地域活性化が図られた。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	9,247人	6,756人	7,365人	16,727人	18,270人
対前年比率	136.9%	91.7%	44.0%	91.6%	96.9%
指定期間	●	●	●(旭町のみ)	●(旭町のみ)	●(旭町のみ)
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	18,863人	18,924人	16,931人	13,082人	15,983人
対前年比率	99.7%	111.8%	129.4%	81.8%	
指定期間	●(旭町のみ)	●(旭町のみ)	●(旭町のみ)	●(旭町のみ)	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①令和3年度は新型コロナによる閉館（約3ヵ月）等の影響があったものの、令和4年1月からは感染対策を講じて開所する方針になり、閉館が無かったことから、前年比では増加した。 ②少子化が進む中で利用者数は維持していたが、新型コロナの影響で、令和2年度以降は減少している。		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0.0	昨年度実績値 3,404
			利用料金	0.0	実績値 2,348
			自主事業	0.0	増減 ▲ 1,056

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(住吉児童センター)利用者に対しての様々な企画や行事があるので、楽しく有意義な時間を過ごすことができる。子育て交流広場では、カードやシールを使うなど、来館の意欲を高める工夫をしている。遊戯室が広くのびのびと活動することができる。エアコンが整備されているため、気温の影響を受けずに活動することができる。 (旭町児童館)児童館が近くにあること、行きたい場所であること、児童館での出来事を楽しく話してくれること、とてもありがたいです。友人と外遊びが安全にできる児童館がとても助かります。本人も児童館が大好きで、とても満足して帰宅してきます。
	苦情	(住吉児童センター)駐車可能台数が少ない。
改善の姿勢	(住吉児童センター)課題について職員で協議したり、事務局に相談したりして改善方法を検討している。 (旭町児童館)アンケート調査実施後は児童や保護者からの意見・要望・苦情などに対して、職員の統一した方針を決め、その回答と調査結果を施設内に掲示している。毎日、ミーティングを行い、児童や保護者からの意見・要望・苦情等を話し合い、共通理解を図っている。毎月1回の職員合同ミーティングで反映できる要望等は随時対応している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	△
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

- ①おおむね良好な管理運営が行われている。
- ②新型コロナの影響がある中、可能な範囲で適切に実施されている。
- ③指定管理者の経営努力により、概ね適切である。
- ④新型コロナの影響を受けたものの、感染対策を講じながら行事内容に工夫を凝らすことで、利用者確保に努めている。
- ・新型コロナの感染拡大が見られる中、欠勤する職員を流動的に配置することで経費節減が図られた。
- ・複数施設での共同イベントを実施することで、利用者確保が図られた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(子育て支援課)

施設名称	宮崎市かのう児童センター外1館		
指定管理者名	特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター		
指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31
	選定方法		公募

2 モニタリング項目

①実地調査 (かのう児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	12 / 12	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25 / 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

①実地調査 (田野児童センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43 / 43	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	25 / 25	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
200	計画値	68.0%	5.3%	26,536,200	26,536,200	3,460,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	72.2%	4.1%	26,536,200	26,536,000	3,677,391
0.00%	増減	4.3%	-1.2%	0	-200	217,391

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	適切に実施された。	地域住民を参画してのイベント等で、地域貢献や地域活性化が図られた。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	41,688人	39,580人	25,037人	42,337人	45,218人	
対前年比率	105.3%	158.1%	59.1%	93.6%	102.8%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	44,001人	40,922人	37,508人	30,633人	34,416人	
対前年比率	107.5%	109.1%	122.4%	89.0%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①令和3年度は新型コロナによる閉館（約3ヵ月）等の影響があったものの、令和4年1月からは感染対策を講じて開所する方針になり、閉館が無かったことから、前年比では増加した。 ②少子化が進む中で利用者数は維持していたが、新型コロナの影響で、令和2年度以降は減少している。		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費	
			使用料	0.0	昨年度実績値	670
			利用料金	0.0	実績値	637
			自主事業	0.0	増減	▲ 33

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(かのう児童センター) 雨の日に遊ぶ場所が無い時など、広いスペースで子どもと過ごせて助かっています。工作やイベントが毎年あって楽しみです。 (田野児童センター) 児童センターが小学校の隣にあるため、平日の子どもが利用することが多く、放課後の過ごす場として保護者としても安心である。
	苦情	(田野児童センター) 児童センターが急に閉館になると子どもの居場所が無くなって困ります。児童クラブのように常に開館してほしい。駐車可能台数が少ないため、お迎えの時間や子育て支援センターの利用者と重なる時間帯が不便である。
改善の姿勢	(かのう児童センター) 意見等については、職員間で話し合い月の便りに掲載し周知している。日常的にお迎えに来た保護者と話し説明している。 (田野児童センター) 意見等については、職員間で話し合い、その回答を施設内に掲示している。日常的にお迎えに来た保護者と話し説明している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

- ①期待どおりの管理運営が行われている。
 ②新型コロナの影響がある中、可能な範囲で適切に実施されている。
 ③指定管理者の経営努力により、概ね適切である。
 ④新型コロナの影響を受けたものの、感染対策を講じながら行事内容に工夫を凝らすことで、利用者確保に努めている。
 ・新型コロナの感染拡大が見られる中、欠勤する職員を流動的に配置することで経費節減が図られた。
 ・複数施設での共同イベントを実施することで、利用者確保が図られた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(親子保健課)

施設名称	宮崎市総合発達支援センター		
指定管理者名	社会福祉法人宮崎市社会福祉事業団		
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31
	選定方法	非公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21 / 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	62 / 71	87.3%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	85.6%	3.6%	464,341,000	464,341,000	11,048,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	81.9%	3.9%	451,542,366	451,542,366	14,544,432
0.00%	増減	-3.7%	0.4%	-12,798,634	-12,798,634	3,496,432

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	コロナウィルス感染症の拡大による制限の中、可能な範囲で事業は実施されており、障がい児者の福祉の増進が図られた。	発達に障がいがある乳幼児等を早期に発見し、適切な療育を実施するために、子どもたちと家族の支援拠点となるよう努めている。
自主事業	地域の障がい児者に携わる職員等の専門性を高めることができた。 実習生等の受入れにより、福祉に係る人材不足解消への協力を行った。	地域の障がい児者に携わる職員等の専門性を高めることができた。 診察が必要な児に適切な時期に診察を受けてもらう事ができた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度		
利用者数	33,539人	35,805人	37,670人	36,882人	37,781人		
対前年比率	93.7%	95.0%	102.1%	97.6%	94.5%		
指定期間	●	●	●	●	●		
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度		
利用者数	39,976人	40,652人	43,476人	41,923人	42,296人		
対前年比率	98.3%	93.5%	103.7%	99.1%			
指定期間	●	●	●	●		●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①コロナウィルス蔓延による休館、一部休園。児童発達支援契約者数の適正化を図ったため			利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
				使用料	7,395.9	昨年度実績値	12,502
	②コロナウィルス蔓延による休館、一部休園。児童発達支援契約者数の適正化を図ったため。 福祉の給付費制度の変更により、診療報酬請求不可になっている（そのため、利用者数にカウントしていない）			利用料金	0.0	実績値	13,463
				自主事業	176.1	増減	961

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	【児童発達支援センター すびか】 非常によく工夫されており、家庭では難しい内容もたくさんしていただけている。 【生活介護事業所 宙】 いつも細かくサポートしていただき、ありがとうございます。 色々な活動があり、楽しく過ごせているようです。 週1回の利用ですが、毎回楽しみに通っています。帰宅後に沢山おしゃべりして教えてくれますので、安心しています。
	苦情	【児童発達支援センター すびか】 コロナの影響で仕方ないことだと思いますが園外の子どもと活動する機会がない。 【生活介護事業所 宙】 ・保護者より、他の施設より、“安心・安全”に気を付けていて、D在中ということで有難い施設だけに、移送サービスをやめたことは残念でした。 ・毎週金曜日の利用がしたい。 ・9時前後の送迎希望
改善の姿勢	【児童発達支援センター すびか】 ・コロナウイルスが5類に移行されたため次年度以降は公立保育所や児童館との活動を検討している。 【生活介護事業所 宙】 ・保護者会総会を2回行い、方針について説明し保護者の理解を得た。 ・移送サービスの特例利用の申請が必要となる。金曜日についてはすでに別事業所を利用されていることなどを働き、今回のご依頼については、お断りすることとした。 ・年度末に送迎バスの時間を調整し、令和5年度より送迎時間を調整し、対応している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	△
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	△		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について	
①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況	
・管理運営については、職員配置や労務管理の点で改善点があるものの、概ね適切に実施されている。引き続き労務環境の改善に務めていただきたい。 ・協定事項については、コロナウイルス感染症の拡大による制限がある中、可能な範囲で適切に実施されている。また、利用者児については、個性や成長段階に合わせた綿密な計画書等に基づき、適切な支援が行われており、保護者の満足度も高い。 ・事業収支についても、コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けているが、指定管理者の経営努力により、概ね適切である。 ・利用状況については、より重度の障がい児者の受入れ体制の確保やコロナウイルス感染症の拡大などによる影響で減少傾向にあるが、概ね適切なものである。ただし、診療所の待機期間が長期間となっているため、その緩和に取り組んでいく必要がある。 ・本施設は、総合的な療育施設であり、同様の施設は他にほとんどなく、障がい児者にとって重要な施設であるため、引き続き、指定管理者の強みなどを活かして、適切な管理運営を期待したい。	

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(保健医療課)

施設名称	宮崎市夜間急病センター小児科		
指定管理者名	公益社団法人宮崎市郡医師会		
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31
選定方法	非公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	/	
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
2,562,819	計画値	92.8%	1.4%	145,873,000	145,873,000	0
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	93.4%	1.3%	141,619,000	139,056,181	0
1.81%	増減	0.5%	-0.1%	-4,254,000	-6,816,819	0

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画に従った運営が行われ、地域の初期救急医療体制が確保できた。	地域の初期救急医療体制が確保され、地域住民の安心安全な生活に寄与できた。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	5,327人	4,606人	3,562人	7,996人	8,253人	
対前年比率	115.7%	129.3%	44.5%	96.9%	100.5%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	8,214人	9,918人	10,750人	10,279人	10,062人	
対前年比率	82.8%	92.3%	104.6%	102.2%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染症拡大時期の発熱患者数の増		利用者1人あたりからの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	14,488.6	昨年度実績値	30,528
	②・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため患者数の減 ・インフルエンザ等の迅速検査の原則不実施（平成28年度～）		利用料金	0.0	実績値	26,104
			自主事業	0.0	増減	▲ 4,424

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	
	苦情	・医師の態度や対応が悪い ・患者が集中した場合の待ち時間が長い
改善の姿勢	・診察業務への苦情があった場合には、利用者の声をスタッフ全員で共有し、関係スタッフ間で相談するようにしている。また市に寄せられた苦情については、その都度、指定管理者に対して内容の確認を行い、改善を踏まえてスタッフへの周知をお願いしている。メール等の問い合わせは、内容によっては利用者への回答も指定管理者にお願いしている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

（①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況）

適正な管理運営が行われる中で、宮崎市郡医師会会員医師、宮崎大学医学部からの派遣医師及び市外在住の支援医師により、365日無休での診療体制を維持でき、市内のみならず、県央地区の一次救急医療体制の確立に寄与できている。

令和

5 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(保健医療課)

施設名称	宮崎市立田野病院		
指定管理者名	国立大学法人宮崎大学		
指定期間	2015.4.1	～	2035.3.31
	選定方法		公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 47	85.1%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	70.5%	4.4%	707,043,000	707,043,000	23,264,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	70.7%	4.5%	704,252,163	704,252,163	23,303,704
0.00%	増減	0.3%	0.1%	-2,790,837	-2,790,837	39,704

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	地域における基幹的な公的医療機関として、地域住民の健康と生命を守るための重要な役割を果たしている。	同左
自主事業	なし	同左

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	35,338人	37,317人	35,327人	37,489人	36,585人	
対前年比率	94.7%	105.6%	94.2%	102.5%	98.1%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	37,301人	36,405人	31,509人	31,481人	35,983人	
対前年比率	102.5%	115.5%	100.1%	87.5%		
指定期間	●	●	●			
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①前年度と比較すると入院患者数及び外来患者数が減少している。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	17,665.9	昨年度 実績値	19,258
	②宮崎市病院事業経営計画に基づく管理運営を行 い、一定の水準を推移している。		利用料金	14,097.1	実績値	19,929
			自主事業	0.0	増減	671

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	なし
	苦情	①病棟にて車椅子から落ちた患者があり、そばにいたほかの患者が助けを求めているが、近くにいた医師はパソコンをしており完全に無視していた。看護師が一人で車椅子に乗せようとするが、一人では出来ず、その後駆け付けた二人によって座ることができた。目を離した看護師にも落ち度はあるが、医師の対応についてどうかと思う。 ②夜間警備員の対応（威圧的な言動、不愛想な態度）に大変不快な思いをした。夜間警備の方も病院の顔だと思う。御苦様かとは思うが、疲れた心身に優しさがほしい。
改善の姿勢	①病棟に状況を確認し、該当医師へ院長より確認及び指導を行った。 ②総務医事課より夜間警備員へ指導を行った。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について （①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況）	
宮崎市田野病院事業は医師不足等による医療提供体制の脆弱性と赤字経営の常態化という2つの課題を抱えていたが、指定管理者制度導入後、特に医療提供体制の充実という面では改善が図られてきている。令和4年度においては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大が医療提供体制に一定の影響を及ぼしたため、新規入院の受入制限を行うなどの対応により、入院患者数が減少した。一方で、県全体の逼迫した医療体制のなか、県の要請に応じ、新型コロナウイルス感染症患者入院受入病床を確保した。	

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(農業振興課
佐土原農林建設課
清武農林建設課)

施設名称	宮崎市ふるさと農産物加工センター 那珂地区農業構造改善センター 宮崎市清武ふるさと農産物加工センター			
指定管理者名	宮崎中央農業協同組合			
指定期間	2022.4.1	～	2027.3.31	選定方法 公募

2 モニタリング項目

①実地調査

(宮崎市ふるさと農産物加工センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	32	／ 32	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16	／ 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおりに管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16	／ 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(那珂地区農業構造改善センター(農産加工実習室))

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	27	／ 27	100.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	10	／ 12	83.3%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおりに管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 20	100.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(宮崎市清武ふるさと農産物加工センター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	41.5	／ 43	96.5%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15	／ 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	19	／ 20	95.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	69	／ 71	97.2%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
968,667	計画値	63.1%	2.5%	15,280,000	15,280,000	2,200,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	63.6%	5.3%	15,350,930	14,382,263	2,294,754
6.31%	増減	0.6%	2.8%	70,930	-897,737	94,754

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、利用者の施設満足度維持が図られた。	手作りで、利用者の安心安全な健康づくりが図られた。
自主事業		

④利用状況 (該当複数施設の合計)

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	4,441人	3,737人	4,120人	5,064人	5,417人
対前年比率	118.8%	90.7%	81.4%	93.5%	96.9%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	5,591人	5,794人	0,000人	0,000人	0,000人
対前年比率	96.5%				
指定期間	●				
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①コロナ感染症の行動制限緩和等により、施設の利用者数が回復してきている。		利用者1人あたりの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0.0	昨年度実績値 4,065
	②1グループあたりの人数が減ってきていることやその人数が減ったことによる利用回数が減少することにより利用者数の減少していると考え。		利用料金	245.6	実績値 3,239
			自主事業	0.0	増減 ▲ 827

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	(宮崎市ふるさと農産物加工センター) ・こういう施設があってありがたいです。 ・いつも指導員の方の指示のもと楽しくみそ作りさせていただいてありがたいです。 ・生活利用はもちろんの事、コミュニケーション等多方面に効果があり、施設の存続を強く望みます。 (那珂地区農業構造改善センター) ・続けてほしいです。 ・いつも満足しています。 ・これからも安心の食の為に利用したい。
	苦情	(宮崎市ふるさと農産物加工センター) ・みぞを洗う時フタが重いです。(加工室内) ・シンクの排水口が小さい。 (那珂地区農業構造改善センター) ・特になし (宮崎市清武ふるさと農産物加工センター) ・特になし
改善の姿勢	(宮崎市ふるさと農産物加工センター) ・側溝蓋を軽量化する等の改良を行うと、加工作業中の移動によりズレ等が起こり、転倒等の事故につながる恐れがあるため改良は困難と考える。 ・排水溝を大きく改良することは困難と考える。 (那珂地区農業構造改善センター) ・特になし (宮崎市清武ふるさと農産物加工センター) ・特になし	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

- ①概ね期待どおりの管理運営が行われている。
 ②協定に基づいた管理が適切に行われている。
 ③収支計画と決算に若干の差異があったが、概ね適正に運営されている。
 ④コロナによる行動制限が緩和され、利用者数は昨年に比べ増加している。利用者数を確保するためにも指定管理者と連携しながら体験会等を定期的の実施し、地産地消推進と合わせ利用者確保に努めていきたい。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(森林水産課)

施設名称	宮崎市自然休養村センター		
指定管理者名	木花・青島活性化プロジェクトJV		
指定期間	2018.4.1	～	2023.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-7,363,715	計画値	43.3%	45.3%	98,960,000	98,730,000	11,211,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	60.9%	26.2%	70,799,400	78,163,115	10,118,388
-10.40%	増減	17.6%	-19.2%	-28,160,600	-20,566,885	-1,092,612

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	市民の憩いの場や地域コミュニティの形成などに対しても効果が出ている。	地域密着の事業を展開しており、地域振興に大きく貢献している。
自主事業	地域コミュニティの形成や意欲の醸成など、効果が出ている。	シルバー人材の育成や、地域の保育園との交流、宮崎大学の連携による指定管理者制度等の学習の場の提供など、着実に効果が出てきている。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	82,659人	51,504人	49,824人	89,197人	94,187人
対前年比率	160.5%	103.4%	55.9%	94.7%	91.0%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	103,479人	105,703人	107,595人	129,989人	132,839人
対前年比率	97.9%	98.2%	82.8%	97.9%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス発生による利用者の減少		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度 実績値 946
	②新型コロナウイルス発生による利用者の減少、 利用者対象年代等の変化による減少		利用料金	330.1	実績値 946
			自主事業	274.5	増減 0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・健康と長寿そして認知症予防の施設として大変有効な施設として貢献していると思う。 ・座敷もあり子供連れでも利用しやすい。 ・週に3～4回は入浴している。入浴料も安く利用しやすい。なくてはならない施設である。
	苦情	・館内のクロス、床、絨毯など、施設の老朽化が目立つ。 ・売店やレストランが、同じフロアにあり、レストランが分かりにくい。 ・施設の規模に対し利用者が多い。室内環境づくりにも必要ではないか。
改善の姿勢	・地域との連携を図るため、積極的にイベントを開催したり、地元農産物等の販売を行っている。 ・施設が故障した場合は、施設所管課へ速やかに報告が上がっており、随時修繕を行っている。 また、軽微な修繕等については、迅速に対応しており、大規模な改修についても、施設所管課と継続して協議を行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の 状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	△

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①管理運営の状況としては、概ね適正である。
 ②協定事項としては、概ね適正である。
 ③事業収支については、備品等の更新等も必要であるが、健全な事業収支にむけて今後とも改善に努める必要がある。
 ④利用状況については、尚一層、市民の方の利用増進に努める必要がある。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(森林水産課)

施設名称	宮崎市椿山森林公園				
指定管理者名	宮崎中央森林組合				
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32 / 36	88.9%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18 / 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
918,786	計画値	6.8%	14.9%	14,423,889	14,423,889	995,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	13.5%	14.9%	14,505,135	13,586,349	841,690
6.33%	増減	6.6%	0.0%	81,246	-837,540	-153,310

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	・事業計画どおり実施され、適切な維持管理が行われている。	・市民の憩いの場として提供した。
自主事業	・園内に植栽されている椿の有効利用となる。 ・市民への木育が期待される。	・椿ふれあいまつりに使用された。 ・木育の場として提供された。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	12,421人	14,336人	15,484人	12,682人	12,842人
対前年比率	86.6%	92.6%	122.1%	98.8%	103.5%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	12,407人	12,422人	15,926人	14,759人	15,909人
対前年比率	99.9%	78.0%	107.9%	92.8%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①コロナ禍で高まった自然に対する関心が、収まってきたため。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度 実績値 955
	②イベントの規模縮小に伴い、利用者が減少している。		利用料金	0.0	実績値 1,094
			自主事業	0.0	増減 139

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・携帯電話の電波が通じず、自然に囲まれた環境は現代の子供たちにとって貴重である。 ・自然環境と豊富な種類の椿が観賞できる他に例を見ない場所である。
	苦情	・携帯電話が通じない。 ・距離が遠い。
改善の姿勢	・フェイスブックにアジサイの開花情報等を掲載し集客を図った。 ・椿の樹名板設置や園内施設の整備を行った。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。		○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		△		報告・提出書類の期日は守られていたか。		○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		○	事業収支	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。		○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○		想定した利用者数を確保できていたか。		○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

①イベントの事前準備等に遅れがみられたため、関係自治会等と密に調整する必要がある。

②協定に基づいた管理が行われている。

③収支の差がマイナスとなっておらず、適正に実施されている。

④適切に利用されている。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(観光戦略課)

施設名称	宮崎市道の駅フェニックス				
指定管理者名	フェニックス運営株式会社				
指定期間	2022.4.1	～	2027.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	19 / 25	76.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67 / 71	94.4%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-3,467,906	計画値	37.0%	34.8%	15,450,000	24,310,000	5,000,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	44.6%	33.3%	20,173,746	23,641,652	2,685,204
-17.19%	増減	7.6%	-1.5%	4,723,746	-668,348	-2,314,796

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに実施し、道路利用者の利便性の向上や、観光及び地域振興が図られた。	市内の欧倫水産物の生産者及び加工業者等と連携した特産品等販売施設の運営を通じて、地域貢献等に寄与した。
自主事業	施設のみならず周辺環境美化が図られた。	施設のみならず周辺環境美化が図られた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	386,432人	291,409人	237,790人	493,245人	508,122人	
対前年比率	132.6%	122.5%	48.2%	97.1%	99.3%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	511,956人	559,123人	591,223人	584,595人	648,480人	
対前年比率	91.6%	94.6%	101.1%	90.1%		
指定期間	●	●	●	●		
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①アフターコロナの影響が要因の一つと考えられる。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)	
			使用料	0.0	昨年度 実績値	70
	②感染症の感染拡大が影響しているものと推測される。		利用料金	52.2	実績値	61
			自主事業	0.0	増減	▲ 9

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	特になし。
	苦情	特になし。
改善の姿勢		

3 総合評価

①チェック項目

◎: 期待以上 ○: 期待どおり △: 改善の余地あり ×: 不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。		○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		○		報告・提出書類の期日は守られていたか。		○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。		△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。		○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

・概ね期待どおりの管理運営が行われているものの、赤字運営から脱せていない。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(観光戦略課)

施設名称	宮崎白浜オートキャンプ場		
指定管理者名	株式会社南九州プロジェクト		
指定期間	2020.4.1	～	2025.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21.5 / 25	86.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68.5 / 71	96.5%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
5,962,792	計画値	58.7%	6.3%	30,000,000	27,785,000	1,500,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	58.2%	6.4%	32,576,793	26,614,001	1,658,148
18.30%	増減	-0.4%	0.1%	2,576,793	-1,170,999	158,148

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画通り実施し、施設利用者の利便性向上や観光振興が図られた。	地域を周遊させる仕組みづくりなど地域振興に寄与した。
自主事業	SNS等の活用による集客力の向上や、レンタル品の入替による満足度の向上が図られた。	地域を周遊させる仕組みづくりなど地域振興に寄与した。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	11,210人	8,641人	8,845人	10,847人	11,289人
対前年比率	129.7%	97.7%	81.5%	96.1%	103.3%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	10,932人	10,244人	9,122人	8,320人	8,871人
対前年比率	106.7%	112.3%	109.6%	93.8%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①アウトドア需要の高まりや効果的な情報発信から利用者増に繋がった。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 3,104
	②感染症拡大等により一時利用者減となったものの、昨今のアウトドア需要の高まりや効果的な情報発信、サービスの向上などにより利用者増となった。		利用料金	2,695.9	実績値 2,374
			自主事業	210.2	増減 ▲ 730

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・キャンプデビューを白浜でできてよかった。 ・スタンプラリーのおかげで、行ったことのない場所に行けて良かった。 ・チラシやポスターのデザインが良かった。 ・夏休みのいい思い出になった。
	苦情	・ケビンのキッチンが温水も出るようにしてほしい。 ・ケビンのすきま風が気になる ・ウォシュレットを設置してほしい。
改善の姿勢	・施設のハード面などすぐに対処できかねる部分もあるが、サービスの磨き上げを行いカバーしていこうという姿勢がある。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
・概ね期待どおりの管理運営が行われている。・収支も黒字化しており、コンセプションの良い影響が出ている。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(観光戦略課)

施設名称	宮崎市青島ビーチセンター		
指定管理者名	渚の交番青島プロジェクト実行委員会		
指定期間	2020.4.1	～	2023.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67 / 71	94.4%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	79.8%	1.1%	9,325,000	9,287,000	400,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	75.9%	0.5%	9,717,360	9,717,360	441,836
0.00%	増減	-3.9%	-0.6%	392,360	430,360	41,836

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、青島地域の海岸利用者の利便性の向上が図られた。	観光及び地域の振興につながった。
自主事業	観光及び地域の振興につながった。	事業計画どおり実施し、施設利用者の確保が図られた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	7,463人	10,031人	14,580人	63,288人	146,446人	
対前年比率	74.4%	68.8%	23.0%	43.2%	112.5%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	130,144人	179,629人	142,939人	56,979人	135,992人	
対前年比率	72.5%	125.7%	250.9%	41.9%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルスの影響によるものと推測される。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度 実績値	948
	②新型コロナウイルスの影響によるものと推測される。		利用料金	315.9	実績値	1,302
			自主事業	124.7	増減	354

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	特になし
	苦情	特になし
改善の姿勢		

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	◎
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	◎
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

・概ね期待通りの管理運営が行われている。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(観光戦略課)

施設名称	青島参道南広場				
指定管理者名	一般財団法人みやざき公園協会				
指定期間	2020.4.1	～	2025.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
969,069	計画値	48.9%	5.9%	5,315,000	5,301,000	264,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	52.2%	5.9%	5,221,100	4,252,031	272,113
18.56%	増減	3.3%	0.0%	-93,900	-1,048,969	8,113

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、施設利用者の利便性向上や観光振興が図られた。	海水浴や夏休みなど、周囲のイベントに合わせた営業時間の延伸や、利用者に寄り添った対応など、地域振興及び観光振興に寄与した。
自主事業	事業計画どおり実施し、施設利用者の利便性向上や観光振興が図られた。	事業計画どおり実施し、地域振興及び観光振興に寄与した。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	2,712人	2,822人	1,297人	6,786人	9,931人	
対前年比率	96.1%	217.6%	19.1%	68.3%	99.6%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	9,971人	4,886人	17,223人	11,275人		
対前年比率	204.1%	28.4%	152.8%			
指定期間	●	●	●	●		
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事等が開催されず、利用者が減少したため。		利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度実績値	1,516
	②新型コロナウイルス感染症の影響により、地域行事等が開催されず、利用者が減少したため。		利用料金	0.0	実績値	1,568
			自主事業	43.9	増減	52

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	緑などの自然の豊かさに関する評価
	苦情	障害者スペースへの健常者の駐車満車時の県道渋滞
改善の姿勢	宮崎県「おもいやり駐車場制度」の申請、満車時の「満車」表示掲示、スタッフによる交通誘導により対処した。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況) ・概ね期待どおりの管理運営が行われている。
--

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市生目の杜運動公園		
指定管理者名	MSG・ミズノグループ		
指定期間	2020.4.1	～	2025.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	46 / 47	97.9%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	15 / 15	100.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	24 / 25	96.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
64,154	計画値	27.3%	37.4%	166,310,000	166,310,000	32,646,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	24.2%	45.0%	166,551,946	166,487,792	29,797,286
0.04%	増減	-3.1%	7.6%	241,946	177,792	-2,848,714

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、プロ野球団体等との細やかな連絡調整により、各種大会やキャンプ等のイベントを円滑に運営した。 使用者の安全確保を第一とし、予防保全の観点から施設の設備修繕一覧表を策定し、市と連携して積極的な施設の維持管理を行った。 運営協議会を設置することにより収集した使用者の意見を、運営に反映させ、効果的かつ円滑な運営と利用促進を図った。	プロ野球団体等のイベントの円滑な開催により、多くの使用者が来場し地域活性化が図られた。 市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	一部新型コロナウイルス感染症の影響を受け中止となった事業もあったが、自宅からでも参加できるオンラインプログラムミズノ流忍者学校を実施し、市民スポーツの活性化が図られた。 施設の設置目的に沿った事業が実施された。	世代間交流が図れるような事業を実施している。 親子を対象とした事業を実施している。 高齢者を対象とした事業を実施している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	267,018人	191,001人	190,993人	291,131人	338,105人	
対前年比率	139.8%	100.0%	65.6%	86.1%	112.4%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	300,802人	320,941人	325,202人	303,525人	321,360人	
対前年比率	93.7%	98.7%	107.1%	94.5%		
指定期間	●	●	●	●		●
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①年度途中からの新型コロナウイルス感染症の感染拡大収束により、使用者が増加した。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	174.1	昨年度 実績値	852
	②新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、施設を休館（場）したため利用者数が減少した。		利用料金	0.0	実績値	624
			自主事業	0.0	増減	▲ 229

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・いつもキレイに整備されており、気持ちよく使用することができる。 ・プロ野球団体等がキャンプをしている環境で練習できてよい。 ・施設について丁寧に説明してもらえた。 ・多目的グラウンドBの人工芝コートは人工芝の張替えが行われており、とても綺麗で使いやすかった。
	苦情	・プロスポーツキャンプや整備で使用できない期間があり不便。 ・陸上競技場のグラウンドにカモがフンをしており臭いが気になる。 ・雨天利用後の多目的グラウンドB天然芝コートの芝が傷んでいる。
改善の姿勢	・整備については可能な限り短期間で終わらせるほか、調整可能な時間については使用者に貸し出す。 ・令和5年度にカモ対策としてカモ撃退装置を設置予定。 ・芝の補植を行い、追加で養生期間を設けることにより改善を図る。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	◎	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	◎		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	◎		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	◎		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	◎		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	◎	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	◎		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について ①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況 実績や経験が豊富であり、ノウハウを活かした維持管理を行っているため、プロスポーツキャンプ等に対しても問題なく対応できている。多様な自主事業を展開し、使用者の増加に努めており、使用者とのコミュニケーションも取れている。定期的に救命法の講習会や自衛消防訓練を実施し、使用者の安全管理の充実を図っている。人材育成及び技術力向上のため、施設職員の継続的な確保が必要と思われる。全体的に適正な管理運営を行っている。実績や経験を活かした管理運営を引き続き行ってもらいたい。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市久峰総合公園、宮崎市佐土原武道館		
指定管理者名	一般財団法人みやざき公園協会		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 (久峰総合公園)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査 (佐土原武道館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-741,692	計画値	46.6%	11.7%	54,008,800	51,774,800	7,679,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	48.0%	9.3%	54,346,895	55,088,587	8,045,935
-1.36%	増減	1.4%	-2.4%	338,095	3,313,787	366,935

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、健康促進の啓発や、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。 効率的かつ効果的な運営を行い、経費の削減に努めている。 市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。 使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	事業計画どおり実施し、園芸知識の啓発や、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。 施設の設置目的に沿った事業が実施された。 新たな利用者の確保を目的とした事業が実施された。 普段スポーツをしない方向けの教室が開催され、新たな利用者の確保が図られた。	世代間交流が図れるような事業を実施している。 親子を対象とした事業を実施している。

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	78,521人	59,625人	63,565人	78,664人	85,961人
対前年比率	131.7%	93.8%	80.8%	91.5%	95.7%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	89,823人	90,919人	96,184人	97,358人	90,071人
対前年比率	98.8%	94.5%	98.8%	108.1%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス発生による一時的な休館等の対策が緩和されたことにより前年度より増加	利用者1人あたりの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費	
		使用料	143.2	昨年度実績値	702
	②新型コロナウイルス発生による一時的な休館や新規予約受付停止が生じたことに伴う減	利用料金	0.0	実績値	702
		自主事業	28.9	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(宮崎市久峰総合公園・宮崎市佐土原武道館共通) ・いつもきれいにしており、素晴らしい。 (宮崎市久峰総合公園) トイレが気持ちよく利用できる。
	苦情	(宮崎市久峰総合公園) ・危険行為をする人がいる。 ・樹木が立て込んでいて公園が暗い。
改善の姿勢	(宮崎市久峰総合公園・宮崎市佐土原武道館共通) 早急に対応できるものについては、随時対応を行っており、それ以外についても市と相談しながら改善に努めている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

指定管理者としての業務内容を熟知し、効率的、効果的に管理運営が行われている。
多様なスポーツニーズに対応できるよう、適切に職員を配置している。
施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に実施するよう指導を行った。

令和

4 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市田野運動公園、宮崎市田野体育館、宮崎市B&G海洋センター体育館、宮崎市B&G海洋センタープール		
指定管理者名	たのたい共同企業体		
指定期間	H30.4.1	～	R5.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 (宮崎市田野運動公園)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 47	85.1%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16	／ 20	80.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 67	95.5%

①実地調査 (宮崎市田野体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 47	85.1%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16	／ 20	80.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 67	95.5%

①実地調査

(宮崎市B&G海洋センター体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 47	85.1%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16	／ 20	80.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 67	95.5%

①実地調査

(宮崎市B&G海洋センタープール)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 47	85.1%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16	／ 20	80.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 67	95.5%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-3,339,782	計画値	52.3%	3.6%	27,412,000	27,412,000	6,586,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	59.2%	3.3%	27,412,561	30,752,343	8,076,199
-12.18%	増減	6.9%	-0.3%	561	3,340,343	1,490,199

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。	使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	施設の設置目的に沿った事業が実施された。	世代間交流が図れるような事業を実施している。

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	79,687人	56,549人	54,547人	92,544人	128,814人	
対前年比率	140.9%	103.7%	58.9%	71.8%	93.6%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	137,567人	111,423人	120,263人	107,636人	112,830人	
対前年比率	123.5%	92.6%	111.7%	95.4%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス発生による一時的な休館や新規予約受付停止がなくなったことに伴う増 ②新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響による利用者数が減少		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費	
			使用料	25.0	昨年度実績値	476
			利用料金	0.0	実績値	386
			自主事業	0.0	増減	▲ 90

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(田野運動公園)・自然豊かで過ごしやすい (田野体育館)・観客席が低くて見やすい (B&G海洋センター体育館)・大通りにありいきやすい (B&G海洋センタープール)・きれいだった
	苦情	(田野運動公園)・野球場にて音楽を大音量で流している団体がいるのでやめてほしい。 (田野体育館)・入口中央の扉が重い (B&G海洋センター体育館)・駐車場でサッカーをしている子供がいる (B&G海洋センタープール)・水温が高い
改善の姿勢	(田野運動公園)(田野体育館)(B&G海洋センター体育館)(B&G海洋センタープール) 利用者から意見要望があった際には、指定管理者が早急に対応している。施設の簡易な修繕については、指定管理者の職員が直接作業を行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

指定管理者としての業務内容を熟知し、効率的、効果的に管理運営が行われている。
多様なスポーツニーズに対応できるよう、適切に職員を配置している。
施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に実施するよう指導を行った。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市清武総合運動公園		
指定管理者名	S & N		
指定期間	2022.4.1	～	2027.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
3,457,999	計画値	52.0%	21.4%	114,200,000	112,410,000	9,900,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	43.2%	22.1%	116,281,991	112,823,992	14,710,047
2.97%	増減	-8.8%	0.7%	2,081,991	413,992	4,810,047

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、プロ野球団体等との細やかな連絡調整により、各種大会やキャンプ等のイベントを円滑に運営した。 使用者の安全確保を第一とし、予防保全の観点から、市と連携して積極的な施設の維持管理を行った。 地域協議会の委員より収集した意見を運営に反映させ、効果的かつ円滑な運営と利用促進を図った。	プロ野球団体等のイベントの円滑な開催により、多くの使用者が来場し地域活性化が図られた。 市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	施設の設置目的に沿った事業が実施された。	多様な年代の地域住民のニーズに応じた事業を実施している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	114,208人	77,377人	88,472人	114,611人	130,895人
対前年比率	147.6%	87.5%	77.2%	87.6%	92.3%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	141,822人	128,965人	87,236人	71,053人	67,775人
対前年比率	110.0%	147.8%	122.8%	104.8%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルスでの規制緩和に伴い、通常運営を再開したことにより、使用増		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	73.9	昨年度実績値 1,399
	②第2野球場やテニスコートが整備されたことにより、使用者数が増加		利用料金	0.0	実績値 988
			自主事業	27.6	増減 ▲ 411

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・Jリーグチームから安い使用料でレベルの高いグラウンドを使えて感謝された。 ・SOKKENスタジアム利用者よりグラウンドが立派に整備されているとの感想。 ・公園内はいつきても草がきれいに刈っており、ごみが落ちていない。
	苦情	特になし
改善の姿勢	・窓口やホームページで寄せられた意見を職員全員で共有し、その都度早急に丁寧な対応を行った。 ・生目の杜と情報交換会議を行いスキルアップに励んだ。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	◎	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	◎		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	◎		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	◎		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	◎	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	◎		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
実績や経験が豊富であり、ノウハウを活かした維持管理を行っているため、プロスポーツキャンプ等に対しても問題なく対応できている。多様な自主事業を展開し、使用者の増加に努めており、使用者とのコミュニケーションも取れている。全体的に適正な管理運営を行っている。実績や経験を活かした管理運営を引き続き行ってもらいたい。施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も引き続き適切に施設の管理運営を行っていただきたい。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	総合体育館、中央公園テニスコート		
指定管理者名	公益財団法人宮崎市スポーツ協会		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

(総合体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22	／ 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(中央公園テニスコート)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22	／ 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-1,457,236	計画値	29.9%	33.5%	66,286,893	66,286,893	18,730,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	28.2%	32.9%	64,839,753	66,296,989	20,542,213
-2.25%	増減	-1.7%	-0.5%	-1,447,140	10,096	1,812,213

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	効率的かつ効果的な運営を行い、経費の削減に努めている。 市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。 使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	施設の設置目的に沿った事業が実施された。 新たな利用者の確保を目的とした事業が実施された。 普段スポーツをしない方向けの教室が開催され、新たな利用者の確保が図られた。	障がいがある方を対象とした事業を実施している。

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	128,299人	189,142人	86,910人	171,735人	194,732人	
対前年比率	67.8%	217.6%	50.6%	88.2%	97.0%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	200,786人	195,592人	206,952人	209,167人	182,974人	
対前年比率	102.7%	94.5%	98.9%	114.3%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①令和3年度は新型コロナウイルスのワクチン接種を総合体育館で実施したため、利用者数が増加した。 ②新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の減少		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費	
			使用料	79.9	昨年度実績値	343
			利用料金	0.0	実績値	517
			自主事業	0.0	増減	174

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	職員の対応はおおむね良い、予約が取りやすい、施設がきれいである
	苦情	使用後のネットをたたんでいない団体があるため、指導して欲しい
改善の姿勢	ネットの片づけについては、職員がその都度利用者に注意、指導を行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	◎	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	◎		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	◎		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

実績や経験が豊富であり、ノウハウを活かした管理運営を行っている。
多様なスポーツニーズに対応できるよう、適切に職員を配置している。
施設設備等の点検業務(法定点検等)について、適切に実施されている。
今後も適切に施設の管理運営を行っていただきたい。

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市北部土地区画整理事業記念体育館、宮崎市南部土地区画整理事業記念体育館、宮崎市広原体育館、宮崎市緑松体育館、宮崎市ストリートスポーツ広場、宮崎市祇園運動広場			
指定管理者名	宮交ビルマネジメント株式会社			
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法 公募

2 モニタリング項目

①実地調査

(緑松体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対する説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(広原体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対する説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(北部土地区画整理事業記念体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(南部土地区画整理事業記念体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査 (ストリートスポーツ広場)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査 (祇園運動広場)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-990,446	計画値	68.9%	2.7%	41,021,852	41,021,852	5,883,202
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	65.4%	2.7%	41,021,852	42,012,298	6,464,964
-2.41%	増減	-3.5%	-0.0%	0	990,446	581,762

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	効率的かつ効果的な運営を行い、経費の削減に努めている。 市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。 使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	事業計画で自主事業の実施を計画しているので、適切に行うこと。	

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	109,384人	68,844人	85,211人	123,253人	101,354人
対前年比率	158.9%	80.8%	69.1%	121.6%	74.2%
指定期間	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	136,681人	137,809人	136,338人	128,017人	112,534人
対前年比率	99.2%	101.1%	106.5%	113.8%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染症発生による一時的な 休館等の対策が緩和されたことによる増加		利用者1人あたり からの収入（客単価）		利用者1人あたりの 管理運営経費
			使用料	89.8	昨年度 実績値 509
	②新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の 減少		利用料金	0.0	実績値 384
			自主事業	0.0	増減 ▲ 125

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・北部土地区画整理事業記念体育館 利用料金が安い、駐車場が広くて使いやすい、立地が良いため利便性が高い ・南部土地区画整理事業記念体育館 大規模改修を終え全体的にきれいになった ・緑松体育館 大きな音を出して利用することができて快適 ・広原体育館 近場にある施設なので便利がいい ・ストリートスポーツ広場・祇園運動広場 県内に数少ない施設なので今後も利用したい
	苦情	・北部土地区画整理事業記念体育館 雨天時や湿度の高い日は、体育室の床が滑りやすい ・北部土地区画整理事業記念体育館 駐車場が狭い ・緑松体育館 特になし ・広原体育館 特になし ・ストリートスポーツ広場・祇園運動広場 草が伸びていることがある
改善の姿勢	・北部土地区画整理事業記念体育館 湿気や結露について、業務用扇風機やモップ掛けで対応している ・ストリートスポーツ広場・祇園運動広場 乗用タイプの草刈機を導入しており、計画的な対応が可能	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について（①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況）
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
新型コロナウイルス感染症発生による一時的な休館等の対策が緩和されたことにより、すべての施設で利用者が昨年度より増加しており、特に南部土地区画整理事業記念体育館については、令和3年度に大規模改修を実施しており、利便性が高まっている。 指定管理者としての業務内容を熟知し、効率的、効果的に管理運営が行われている。 利用者からの多様なニーズに対応できるよう、適切に職員を配置している。 施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に実施するよう指導を行った。 草刈業務の回数を増やすなど、さらなる環境美化に努めていただきたい。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市佐土原体育館、宮崎市佐土原西体育館、宮崎市佐土原西運動広場		
指定管理者名	一般財団法人みやざき公園協会		
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 (佐土原体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査 (佐土原西体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(佐土原西運動広場)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-1,130,295	計画値	37.9%	10.6%	29,153,600	28,478,600	7,080,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	35.4%	10.8%	29,077,383	30,207,678	8,402,881
-3.89%	増減	-2.5%	0.2%	-76,217	1,729,078	1,322,881

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、健康促進の啓発や、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。 効率的かつ効果的な運営を行い、経費の削減に努めている。 市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。 使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	事業計画どおり実施し、健康促進の啓発や、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。 施設の設置目的に沿った事業が実施された。 新たな利用者の確保を目的とした事業が実施された。 普段スポーツをしない方向けの教室が開催され、新たな利用者の確保が図られた。	世代間交流が図れるような事業を実施している。 親子を対象とした事業を実施している。

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	100,344人	65,276人	73,206人	88,876人	117,054人	
対前年比率	153.7%	89.2%	82.4%	75.9%	92.9%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	126,034人	126,025人	124,660人	128,394人	114,183人	
対前年比率	100.0%	101.1%	97.1%	112.4%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス発生による一時的な休館等の対策が緩和されたことにより前年度より増加。		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費	
			使用料	56.1	昨年度実績値	301
	②新型コロナウイルス発生による一時的な休館や新規予約受付停止が生じたことに伴う減		利用料金	0.0	実績値	301
			自主事業	6.0	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(宮崎市佐土原体育館)・大きい体育館で気持ちよく利用できる。・忘れ物対応が素晴らしく好印象だった。 (宮崎市佐土原西体育館)・使用料が安いので、学生でも使いやすい。 (宮崎市佐土原西運動広場)・芝の管理がしっかりしていて使いやすい。
	苦情	(宮崎市佐土原体育館)・床がべたついていていた。・虫が多い。 (宮崎市佐土原西体育館)・コートラインが剥がれている。 (宮崎市佐土原西運動広場)・テニスコート側にも常設トイレを設置してほしい。
改善の姿勢	(宮崎市佐土原体育館、宮崎市佐土原西体育館、宮崎市佐土原西運動広場共通) ・早急に対応できるものについては、随時対応を行っており、それ以外についても市と相談しながら改善に努めている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について（①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況）

◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について

利用状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の収束により使用者が増加した。
指定管理者としての業務内容を熟知し、効率的、効果的に管理運営が行われている。
多様なスポーツニーズに対応できるよう、適切に職員を配置している。
施設設備等の点検業務（法定点検等）については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に実施するよう指導を行った。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市清武体育館、宮崎市加納スポーツセンター		
指定管理者名	株式会社文化コーポレーション		
指定期間	2022.4.1	～	2027.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

(清武体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	42	／ 47	89.4%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18	／ 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査

(加納スポーツセンター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18	／ 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10	／ 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18	／ 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
3,714,640	計画値	57.8%	8.7%	23,600,000	20,382,000	4,540,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	58.1%	8.3%	23,195,425	19,480,785	4,501,592
16.01%	増減	0.2%	-0.4%	-404,575	-901,215	-38,408

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	・事業計画どおり実施し、適切な施設の維持管理や人員増による細やかな使用者対応により、利便性向上が図られた。 ・市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 ・使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	・地域の小学校や幼稚園等と連携し、地域の市民スポーツの活性化に貢献している。 ・市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。 ・使用者の平等な利用が確保され、適宜使用者の意見を管理運営に反映させている。
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	81,553人	65,069人	61,690人	88,435人	100,444人	
対前年比率	125.3%	105.5%	69.8%	88.0%	102.2%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	98,316人	111,600人	78,980人	76,880人	118,227人	
対前年比率	88.1%	141.3%	102.7%	65.0%		
指定期間	●					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大による一時的な休館等の対策が緩和されたことにより、前年度と比べ使用者が増加した。		利用者1人あたりの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費	
			使用料	39.9	昨年度実績値	256
	②新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、施設を一時的に休館したことによる減		利用料金	0.0	実績値	239
			自主事業	0.0	増減	▲ 17

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(宮崎市清武体育館)・共有スペースが広く取られており、昼食などの休憩時に使うことができる。 (宮崎市加納スポーツセンター)・施設の中がいつもきれいに清掃されている。
	苦情	(宮崎市清武体育館)・駐車場の台数が少なく、大会の時などは停められない時がある。・備品が古く、老朽化している。
改善の姿勢	(宮崎市清武体育館、宮崎市加納スポーツセンター共通) ・早急に対応できるものについては、随時対応を行っており、それ以外についても市と相談しながら改善に努めている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
・駐車場や館内の清掃を念入りに行うことにより使用者から高評価を得ている。
・施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に実施するよう指導を行った。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市石崎の杜鯨鯨館		
指定管理者名	みやざきB・Kグループ		
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31
	選定方法		公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-13,010,928	計画値	18.8%	24.2%	202,695,000	201,800,000	43,285,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	36.7%	22.8%	212,525,339	225,536,267	45,820,338
-6.12%	増減	17.9%	-1.4%	9,830,339	23,736,267	2,535,338

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。
自主事業	新たな利用者の確保を目的とした事業が実施された	世代間交流が図れるような事業を実施している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	172,229人	110,253人	94,754人	216,522人	240,293人	
対前年比率	156.2%	116.4%	43.8%	90.1%	93.5%	
指定期間	●	●	●			
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	257,023人	249,068人	240,404人	226,465人	227,970人	
対前年比率	103.2%	103.6%	106.2%	99.3%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス発生による一時的な休館等の対策が緩和されたことにより、前年度より増加。 ②新型コロナウイルス発生により施設を一時的に休館したため減少。		利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度実績値	1,367
			利用料金	319.8	実績値	1,310
			自主事業	586.3	増減	▲ 57

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・忘れ物をしたときに従業員の方が丁寧に対応してくださった。
	苦情	・プールシャワールームの換気扇にほこりがたまっていた。
改善の姿勢	各施設の清掃について、支配人より各従業員に指示をし、改善に向けた取組をしていた。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	△	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
指定管理者としての業務内容を熟知し、効率的、効果的に管理運営が行われている。 温泉、プール利用者それぞれのニーズに対応できるよう、適切に職員を配置している。 施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に実施するよう指導を行った。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(スポーツランド推進課)

施設名称	宮崎市青島パークゴルフ場		
指定管理者名	宮崎交通株式会社		
指定期間	2020.4.1	～	2023.3.31
	選定方法		非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	45 / 47	95.7%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	22 / 25	88.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	71 / 71	100.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-4,996,515	計画値	34.7%	53.4%	24,424,000	24,344,000	1,286,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	32.1%	51.5%	21,163,894	26,160,409	962,495
-23.61%	増減	-2.6%	-1.9%	-3,260,106	1,816,409	-323,505

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	効率的かつ効果的な運営を行い、経費の節減に努めている。 市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。 使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。 使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	施設の設置目的に沿った事業が実施された。	世代間交流が図れるような事業を実施している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	24,619人	20,114人	21,328人	28,682人	32,320人
対前年比率	122.4%	94.3%	74.4%	88.7%	106.2%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	30,433人	30,972人	32,023人	34,462人	34,437人
対前年比率	98.3%	96.7%	92.9%	100.1%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症発生による一時的な 休館等の対策が緩和されたことによる増加		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度 実績値 1,179
	②新型コロナウイルス感染症拡大に伴う利用者の 減少		利用料金	488.2	実績値 1,063
			自主事業	0.0	増減 ▲ 116

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・開放的でよかった ・初めてでもなんとかプレーできた
	苦情	・他のプレーヤーに急かされた
改善の姿勢	利用者マナーについて、適宜啓発を行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の 状況	市との連携は図られていたか。	◎	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、 出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	◎		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	◎	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	◎		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

新型コロナウイルス感染症発生による一時的な休館等の対策が緩和されたことにより、利用者数は令和2、3年度よりも増加している。
指定管理者としての業務内容を熟知し、効率的・効果的に管理運営が行われている。
利用者からの多様なニーズに対応できるよう、適切に職員を配置している。
施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に実施するよう指導を行った。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課 (スポーツランド推進課)

施設名称	天ヶ城公園体育館・野球場・弓道場、橋山運動広場、サンスポーツランド高岡、穆佐運動広場、穆佐体育館、東高岡体育館、高岡練士館道場、高岡トレーニングセンター			
指定管理者名	宮交ビルマネジメント株式会社			
指定期間	2018.4.1	～	2023.3.31	選定方法 公募

2 モニタリング項目

① 実地調査

(天ヶ城公園体育館・野球場・弓道場)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

① 実地調査

(橋山運動広場)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査 (サンスポーツランド高岡)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査 (穆佐運動広場)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査 (穆佐体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査 (東高岡体育館)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査 (高岡練士館道場)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

①実地調査 (高岡トレーニングセンター)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36	／ 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66	／ 71	93.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
850,650	計画値	57.2%	3.0%	26,713,704	25,713,704	5,102,281
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	59.7%	3.5%	26,713,704	25,863,054	5,353,647
3.18%	増減	2.5%	0.5%	0	149,350	251,366

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、健康促進の啓発や、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。効率的かつ効果的な運営を行い、経費の削減に努めている。市民スポーツ活動の拠点としての役割を十分に理解し、市民ニーズを踏まえた管理運営を行っている。使用者の安全確保を第一とし、施設等の日常又は定期的な保守及び点検業務が行われた。	市民ニーズの把握に努め、利用促進を行っている。使用者の平等な利用が確保され、意見を管理運営に反映させている。
自主事業	施設の設置目的に沿った事象が実施された。新たな利用者の確保を目的とした事業が実施された。	世代間交流が図れるような事業を実施している。親子を対象とした事業を実施している。

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	57,329人	55,741人	68,043人	74,473人	89,799人
対前年比率	102.8%	81.9%	91.4%	82.9%	102.0%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	88,043人	84,807人	84,876人	79,817人	79,511人
対前年比率	103.8%	99.9%	106.3%	100.4%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス発生による一時的な休館や新規予約受付停止が生じたことに伴い前年度より増加。		利用者1人あたり からの収入（客単価）		利用者1人あたりの 管理運営経費
			使用料	32.1	昨年度 実績値 427
	②新型コロナウイルス発生による一時的な休館や新規予約受付停止が生じたことに伴う減		利用料金	0.0	実績値 451
			自主事業	0.0	増減 24

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	(天ヶ城公園野球場、体育館、弓道場)・丁寧な対応がとて良く、気持ちよく利用することができた。 (サンスポーツランド高岡)・テニスコートがきれいで使いやすい。 (穆佐体育館 等)・予約が取りやすく、利用しやすい
	苦情	(天ヶ城公園野球場、体育館、弓道場)・内野グラウンドに不陸が多い。 (サンスポーツランド高岡)・多目的グラウンドに石が落ちている。 (穆佐体育館 等)・施設の老朽化による修繕の必要性
改善の姿勢	(天ヶ城公園野球場、体育館、弓道場)・定期的に行っているグラウンド整備をより丁寧に行い、土・砂等の補充を十分に行う。 (サンスポーツランド高岡)・定期的に巡回して石を拾っているが、今後は拾う回数を増やす。 (穆佐体育館 等)・指定管理者と連携し、施設の状態把握に努め、適切な時期に必要な修繕を行う。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	△
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
指定管理者としての業務内容を熟知し、効率的、効果的に管理運営が行われている。 指定管理者のノウハウを活かした管理運営を引き続き行っていただきたい。 施設設備等の点検業務(法定点検等)については、適切に行われている。今後も計画を立て、確実に業務を実施するよう指導を行った。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(建築住宅課)

施設名称	宮崎市営住宅及び旧町有住宅 計59か所・山村定住住宅		
指定管理者名	宮崎市営住宅管理センター		
指定期間	R3.4.1	～	R8.3.31
	選定方法		公募

2 モニタリング項目

①実地調査

(宮崎市営住宅及び旧町有住宅 計59か所)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	32	／ 36	88.9%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

(山村定住住宅)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	32	／ 36	88.9%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44	／ 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
2,131,318	計画値	79.1%	0.0%	143,000,000	140,446,670	1,000,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	79.1%	0.0%	143,000,000	140,868,682	1,256,471
1.49%	増減	0.0%	0.0%	0	422,012	256,471

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、連絡体制の整備やスタッフの情報共有など、迅速な対応及び入居者サービスの向上につなげている。	
自主事業		

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	4,006人	4,094人	4,158人	4,305人	4,510人
対前年比率	97.9%	98.5%	96.6%	95.5%	97.3%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	4,633人	4,716人	4,859人	4,973人	5,076人
対前年比率	98.2%	97.1%	97.7%	98.0%	
指定期間	●	●			
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	① 令和4年度中の入居世帯数：181世帯 令和4年度中の退去世帯数：262世帯		利用者1人あたり からの収入（客単価）	利用者1人あたりの 管理運営経費	
			使用料	266,380.3	昨年度 実績値 34,189
	②建設年度が昭和40年代から平成初期の建物が多く、老朽化等に伴い募集を停止している住戸もある。入居率向上を図るとともに管理戸数の適正化も考慮していく必要がある。		利用料金	0.0	実績値 35,164
			自主事業	0.0	増減 975

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	(宮崎市営住宅及び旧町有住宅 計59か所)及び(山村定住住宅) ・入居申し込み時のアンケート調査の結果、職員の対応について65%が満足、12%がやや満足と回答。 ・親切に対応していただいた。 ・迅速に対応してもらった。
	苦情	(宮崎市営住宅及び旧町有住宅 計59か所)及び(山村定住住宅) ・一部の地区管理会社で電話が繋がらないことが多く、対応を依頼したくてもできない状況がある。 ・雑草が繁茂している。
改善の姿勢	(宮崎市営住宅及び旧町有住宅 計59か所)及び(山村定住住宅) ・担当携帯電話への転送を廃止し、固定電話で複数名での電話対応とする。 ・入居者や自治会等の苦情や要望に対して、関係機関と連携して迅速かつ適正に対応する。 ・定期的な会議において、市及び職員間の情報共有を図る。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
①概ね期待通りの管理運営ができています。 ②協定事項に基づき、適切に事業運営されている。 ③光熱水費等の費用の増加が懸念されるが、経営努力により収支を確保している。 ④建物・設備の老朽化等に伴い、利用者の減少傾向が課題となっているが、市と連携して入居率向上に努めている。 当該複数施設は、市内全域に点在しており、管理戸数も多数あるため、指定管理者の指定により、迅速かつ適切に管理運営されている。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(公園緑地課)

施設名称	橘通東3丁目駐車場(Y・Y PARK)		
指定管理者名	文化グループ連合体		
指定期間	2020.4.1	～	2025.3.31
	選定方法		公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	34 / 36	94.4%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	38 / 43	88.4%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	4 / 4	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32 / 36	88.9%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64 / 67	95.5%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	69.9%	1.0%	66,000,000	67,500,000	4,200,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	65.7%	2.4%	67,916,512	67,916,512	4,812,604
0.00%	増減	-4.2%	1.4%	1,916,512	416,512	612,604

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	実施計画通り実施し、新型コロナウイルス感染症の影響がありながらも、期待以上の利用が確保された。	街中の公共駐車場として、地域活性化を図った。周辺の商業施設と連携することで、周辺施設の利便性の向上に取り組んだ。
自主事業	実施計画通り実施し、周辺の商業施設の利便性の向上や地域活性化に取り組み、利用者数の増加を図った。	街中の公共駐車場として、地域活性化を図った。イルミネーション設置は毎年行っており、集客力上昇や景観の向上に取り組んだ。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	344,262人	327,422人	290,720人	371,215人	385,097人	
対前年比率	105.1%	112.6%	78.3%	96.4%	97.3%	
指定期間	●	●	●			
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	395,942人	400,717人	397,027人	385,209人	390,863人	
対前年比率	98.8%	100.9%	103.1%	98.6%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①コロナの感染防止対策の緩和によるイベント開催などによるもの。		利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度実績値	197
	②新型コロナウイルスの影響によるもの。		利用料金	197.2	実績値	197
			自主事業	0.0	増減	0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・中心市街地での買い物時にとても便利である。 ・事前清算機があるため、出庫の際に手間がかからず助かる。
	苦情	・駐車場内通路が狭い ・駐車場内の表示がわかりづらいところがある。
改善の姿勢	・よりわかりやすい表示や案内に努める。 ・警備員を十分に配置し誘導を行うことで、より安全に利用できるよう努める。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。		○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		○		報告・提出書類の期日は守られていたか。		△
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		○	事業収支	業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。		○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○		想定した利用者数を確保できていたか。		○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ・概ね期待通りの管理運営が行われている。
- ・協定事項に従い適切に管理運営が行えている。
- ・契約方法等を工夫し、経費の削減が行えている。
- ・昨年に比べ、周辺の商業施設の利用増加に伴い回復傾向にある。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(公園緑地課)

施設名称	阿波岐原森林公園(南エントランス)		
指定管理者名	MParks+PHOENIX		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	42 / 47	89.4%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 20	80.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	39 / 40	97.5%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18 / 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 71	93.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-1,104,937	計画値	34.8%	0.0%	39,968,963	39,142,963	2,398,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	37.3%	0.0%	39,247,780	40,352,717	2,109,529
-2.82%	増減	2.5%	0.0%	-721,183	1,209,754	-288,471

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、様々な用途に関して利用者にサービスを提供することができた。	適切な芝生管理業務を実施することで、プロサッカーチームのキャンプなどの利用に対応することができた。前撮り撮影など景観を利用を提供することができた。
自主事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止したイベントもあったが、感染対策を実施したうえで自主事業の実施により地域への貢献が図られた。	環境を生かした自主事業により、地域住民へ豊かさを提供することが図られた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	46,428人	33,675人	30,962人	24,372人	27,047人
対前年比率	137.9%	108.8%	127.0%	90.1%	99.7%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	27,134人	26,936人			
対前年比率	100.7%				
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の収束に伴いイベント等が再開されたことによる利用者数の増		利用者1人あたりからの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 1,194
	②新型コロナウイルス感染症による利用者数の増減		利用料金	0.0	実績値 869
			自主事業	163.0	増減 ▲ 324

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・とても雰囲気良くとても癒されました ・のどかな所で気に入りました ・いつ来ても素晴らしい、緑に囲まれて目のごちそうです ・心が癒されました
	苦情	・トイレがわかりにくい ・トイレが遠い ・トイレの照明が点かない ・車が満車状態だった
改善の姿勢	・駐車場やトイレに対する苦情への対応については、市に要望することで改善しようとしている ・案内標識の修繕などについては、迅速に対応するとこのこと	

3 総合評価

①チェック項目

◎: 期待以上 ○: 期待どおり △: 改善の余地あり ×: 不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	△
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	△
	利用者の公平性は確保されていたか。	△		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	△		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	△	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね適切に管理運営を行うことができている。
- ②協定事項に従い管理を行うことができている。
- ③光熱水費等での削減に努力がみられる。
- ④適切な芝生管理業務を行うことでプロスポーツキャンプでの利用などのサービスを提供することができている。
- ④自然に囲まれた環境を生かし、利用者の憩いの場を提供できている。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(公園緑地課)

施設名称	宮崎市フェニックス自然動物園				
指定管理者名	宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社				
指定期間	2022.4.1	～	2024.3.31	選定方法	非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67 / 71	94.4%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-48,131,879	計画値	22.1%	9.1%	530,936,000	530,936,000	23,652,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	19.6%	8.6%	494,568,441	542,700,320	28,472,903
-9.73%	増減	-2.6%	-0.5%	-36,367,559	11,764,320	4,820,903

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	業務計画通り実施し、動物とのふれあいを通じ動物や自然に対する知識と愛護意識を深める事業を実施できた。	市民感謝月間を設け、市民が気軽に来園し、世代を超えて交流できる場を提供できている。
自主事業	感染拡大防止のために中止したイベントがあった。夏季のプール営業はコロナ感染拡大防止策を徹底し、入場者数を制限して行うとともに、トワイライト営業を実施することで、新たな利用者の確保を図った。	夏季、冬季に夜間営業を実施し、動物や自然とのふれあい、環境学習の場の提供ができている。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	323,213人	214,232人	203,084人	310,222人	322,942人
対前年比率	150.9%	105.5%	65.5%	96.1%	96.1%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	335,902人	324,422人	335,159人	328,983人	334,526人
対前年比率	103.5%	96.8%	101.9%	98.3%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①感染拡大防止のため中止したイベントも一部あったが、来場者の利便向上やプールの実施などにより利用者の増加を図った。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 1,679
	②9年前とほぼ同数(97%)の利用者数まで回復した。		利用料金	394.3	実績値 1,679
			自主事業	940.4	増減 0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・ワオキツネザルの説明がとても良かった。 ・宮崎市民月間を設けてもらい割引を実施してもらえてよかった。 ・歩いていくときに、スタッフさんが挨拶してくれるのは、すごく気持ちがいいです。
	苦情	・BGMでワオキツネザルの説明の音が聞き取れなかった。 ・チンパンジーの森にもトイレがほしい。 ・動物とのふれあいイベントを復活させてほしい。 ・休止の遊具があるのが残念だ。
改善の姿勢	利用者からの意見について、各責任者へ回覧を行い、簡単に改善できるところはすぐに実行(接客対応についての指導、案内の見直し)し、難しいものについては今後の課題として検討した。 今後利用者により満足できるような展示やイベント等を実施するよう努めていく予定である。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

・概ね期待どおりの管理運営が行われている。
・新型コロナウイルスの影響により、プール営業の利用者数制限や体験イベントの中止なども取らざるを得なかったが、事業計画を変更し利用者の確保に努めていた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(公園緑地課)

施設名称	阿波岐原森林公園(フローランテ宮崎)		
指定管理者名	宮崎市フェニックス自然動物園管理株式会社		
指定期間	2022.4.1	～	2024.3.31
	選定方法		非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	35 / 36	97.2%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36 / 39	92.3%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 71	93.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-344,768	計画値	31.0%	41.8%	229,062,000	229,062,000	8,920,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	31.3%	44.7%	225,158,843	225,503,611	9,324,420
-0.15%	増減	0.3%	2.9%	-3,903,157	-3,558,389	404,420

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、宮崎市の花のまちづくりの推進拠点として、来園者に対するサービス向上並びに適切な施設の維持管理ができています。	市民に対する緑化の啓発・普及・指導ができており、花のまちづくりに関する情報の提供や交流の場の提供ができています。
自主事業	感染拡大防止のため中止したイベントもあったが、大型イベントである、イルミネーション・フラワー・ガーデンなどを実施し、利用者の拡大を図った。	出店や体験型イベントを実施し、憩い・レクリエーションの場の提供ができています。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	205,455人	83,749人	60,671人	308,676人	301,611人	
対前年比率	245.3%	138.0%	19.7%	102.3%	92.8%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	324,854人	371,220人	379,283人	337,265人	353,217人	
対前年比率	87.5%	97.9%	112.5%	95.5%		
指定期間	●	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①感染拡大防止のため中止したイベントも一部あったが、来場者の利便向上やフローランテの魅力アップにつながる新たな取組みの実施やイルミネーションの開催などにより利用者の増加を図った。 ②コロナの影響により入園者数は約60％まで減少した。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度 実績値	1,098
			利用料金	188.8	実績値	1,098
			自主事業	82.9	増減	▲0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・お値段が手頃で、歩くにも広すぎないし、手入れされた花たちが綺麗だった。 ・花々の植栽テクニックや見せ方、イルミネーションでも他の植物園に比較しても、遜色はないと思うので、花の街宮崎市を全国に向けて発信して、集客力アップの工夫をしたら良いと思う。 ・初めて寄せ植え教室に参加しました。とても楽しかった。
	苦情	・花が咲いている時期と、そうでない時があまりにも差があるのではないかと。 ・芝生育成中で広場に入れずゆっくりできなかったのとお花がない時期などは半額にするか、入口に大きく書いてほしい。 ・公園(遊具)も半分目的にしていたのでなくなっていたのが残念だった。
改善の姿勢	利用者からの意見について、各責任者へ回覧を行い、簡単に改善できるところはすぐに実行(接客対応についての指導、案内の見直し)し、難しいものについては今後の課題として検討した。 今後も利用者がより満足できるような展示やイベント等を実施するよう努めていく予定である。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
・概ね期待どおりの管理運営が行われている。 ・新型コロナウイルスの影響により、大型イベントの一部中止などの対応となることもあったが、事業計画を変更し利用者の確保に努めていた。

1 基本情報

施設所管課

(公園緑地課)

施設名称	阿波岐原森林公園(市民の森、北エントランス)		
指定管理者名	一般財団法人みやざき公園協会		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 20	80.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	42 / 44	95.5%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18 / 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 71	93.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-2,783,808	計画値	35.3%	0.0%	58,903,648	58,810,648	4,318,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	34.2%	0.0%	58,606,743	61,390,551	4,681,126
-4.75%	増減	-1.2%	0.0%	-296,905	2,579,903	363,126

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、様々な用途に関して利用者にサービスを提供することができた。	市民との協働による諸活動の育成・支援を行うことで、公園利用の活性化を図ることができた。
自主事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止したイベントもあったが、感染対策を実施したうえで自主事業の実施により地域への貢献が図られた。	環境を生かした自主事業により、地域住民へ豊かさを提供することが図られた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	191,616人	194,500人	218,816人	185,016人	200,900人
対前年比率	98.5%	88.9%	118.3%	92.1%	797.8%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	25,181人	24,792人	23,929人	26,967人	
対前年比率	101.6%	103.6%	88.7%		
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の収束に伴う、利用者の選択肢（公園以外）の増加		利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）
			使用料	0.0	昨年度実績値 320
	②新型コロナウイルス感染症による利用者数の増減		利用料金	0.0	実績値 320
			自主事業	44.5	増減 0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・ゴミひとつおちていない ・花が大変きれい ・森林浴にすごく良いです ・季節の花木を見ながら、リフレッシュできます
	苦情	・洋式トイレを増やしてほしい ・週末やイベント時に駐車場の不足している ・市民の森管理事務所と国際海浜エントランスプラザで販売している苗の金額が違う ・職員の態度がおおちゃく
改善の姿勢	・トイレに対する苦情への対応については、市に要望することで改善しようとしている ・週末やイベント時の駐車場の増設要望を受けて、利用状況から必要台数の把握に努めている ・価格が異なっていた越年草の販売を停止し、価格の統一を図った ・職員の態度に関する問題提起を受けて、職員教育に力を入れるようにしている	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	△		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	△		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	△	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	△
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	△	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①概ね適切に管理運営を行うことができています。
- ②協定事項に従い管理を行うことができています。
- ③光熱水費等での削減に努力がみられる。
- ④自然に囲まれた環境を生かし、利用者の憩いの場を提供できている。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(公園緑地課)

施設名称	萩の台公園				
指定管理者名	萩の台公園運営プロジェクト				
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	17 / 20	85.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	38 / 40	95.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
754,978	計画値	53.7%	0.0%	29,875,148	29,867,148	1,037,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	57.2%	0.0%	29,549,960	28,794,982	1,007,649
2.55%	増減	3.6%	0.0%	-325,188	-1,072,166	-29,351

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、新型コロナウイルス感染症の影響があったが、概ね昨年度と同様の利用者の確保が図られた。	地域コミュニティの核となる公園、環境教育の視点を根底に据えた公園であることを理解し、利用者サービス向上に努めることで、スポーツ大会などの地域活動に貢献できた。
自主事業	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、事業計画どおり実施出来なかったイベントもあるが、感染対策を徹底することで、概ね昨年度と同様の利用者の確保が図られた。	地域コミュニティの核となる公園、環境教育の視点を根底に据えた公園であることを理解し、利用者サービス向上に努めることで、スポーツ大会などの地域活動に貢献できた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	32,517人	17,813人	17,101人	24,372人	27,047人
対前年比率	182.5%	104.2%	70.2%	90.1%	99.7%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	27,134人	26,936人			
対前年比率	100.7%				
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の収束に伴い大会等が再開されたことによる利用者数の増		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 1,502
	②新型コロナウイルス感染症による利用者数の増減		利用料金	0.0	実績値 886
			自主事業	45.9	増減 ▲ 616

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・子供たちは、とても楽しんで遊んでいます。 ・遊具がたくさんあって、友人・兄弟で遊ぶのが楽しいです。 ・見晴らしもよく最高でした。 ・また家族で行きたい。
	苦情	・トイレが少し汚れている。 ・犬の糞が多い。 ・トイレを新しくして欲しい。(洋式化)
改善の姿勢	・トイレが汚いという苦情に対して、清掃方法の改善を検討し、使いやすいトイレにしていく姿勢がみられる。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目			評価	チェック項目			評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。		○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。		○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。		○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。		○
	施設の安全管理は適正になされていたか。		△		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。		○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。		○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。		○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。		○		報告・提出書類の期日は守られていたか。		△
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。		△		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。		○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。		○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。		○
	利用者の公平性は確保されていたか。		○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。		○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。		△		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。		○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。		○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。		△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。		△		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。		○

②所見

◆総合評価について

①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況

①概ね期待どおりの管理運営が行われている。
 ②協定事項に従い管理を行うことができています。
 ③光熱水費等での削減に努力がみられる。
 ④スポーツ大会等のイベント時においては、臨時駐車場の準備など柔軟に対応をすることができており、利用者サービス向上に努められており、成果が得られている。
 ④利用者アンケートにおいて多数のご意見をいただいているが、少しでも改善していけるよう今後とも努力していただきたい。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(公園緑地課)

施設名称	大淀川市民緑地、山内川緑地、出水口公園、宮崎中央公園			
指定管理者名	グリーンスマイルパートナーズ			
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法 公募

2 モニタリング項目

①実地調査 (大淀川市民緑地)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	32	／ 34	94.1%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	8	／ 8	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	16	／ 16	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 66	97.0%

①実地調査 (出水口公園)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18	／ 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	16	／ 16	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 66	97.0%

①実地調査

(山内川緑地)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	36	／ 38	94.7%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	8	／ 8	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	16	／ 16	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 66	97.0%

①実地調査

(宮崎中央公園)

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40	／ 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32	／ 32	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	13	／ 15	86.7%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20	／ 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64	／ 66	97.0%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	39.9%	37.3%	53,975,926	53,975,926	3,300,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	39.4%	36.7%	54,665,724	54,665,724	3,000,018
0.00%	増減	-0.5%	-0.6%	689,798	689,798	-299,982

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画通りに実施し、概ね昨年度と同様の利用者の確保が図られた。 台風災害後も公園内の迅速な復旧の対応を行うことができた。	地域のイベントや定期的に行われるグラウンドゴルフ等の利用を円滑に運営することができた。 宮崎中央公園では、周辺機関と綿密に情報共有などを行うことで、適切な管理を行うことができた。
自主事業	新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止したイベントもあるが、感染対策のうえ実施し、概ね昨年度と同様の利用者の確保が図られた。	多彩なイベントを企画することで、地域の憩いの場として公園の積極的な活用に貢献した。

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	498,291人	318,666人	297,937人	381,402人	304,427人
対前年比率	156.4%	107.0%	78.1%	125.3%	102.3%
指定期間	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	297,460人	298,106人			
対前年比率	99.8%				
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の収束に伴い大会等が再開されたことによる利用者数の増		利用者1人あたりからの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0.0	昨年度実績値 110
	②新型コロナウイルス感染拡大による増減		利用料金	0.0	実績値 110
			自主事業	2.0	増減 0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	(大淀川市民緑地) ・草刈りの要望に対して迅速に対応してもらった。 (出水口公園) ・落葉の清掃がきれいにされている。 (山内川緑地) ・きれいに芝刈りがされている。 (宮崎中央公園) ・桜の維持管理が適正にされている。 (その他) ・パトロールをしている職員の対応が親切である。
	苦情	(大淀川市民緑地) ・公園内でゴルフの練習をしており危険である。 (山内川緑地) ・公園内で喫煙をしている者がいる。 (宮崎中央公園) ・公園の草刈り作業中に埃をかけられた。 ・公園内でスケボーをしており危険である。
改善の姿勢	(大淀川市民緑地) ・都度、注意を行った。 (山内川緑地) ・都度、注意を行った。 (宮崎中央公園) ・相手方に謝罪をし、再発防止の周知を行った。 ・警察等と連携し対応した。 ・各苦情に対して適切に対応を行った。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	◎
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○	利用状況	事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	◎		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
・概ね適切に管理運営を行うことができている。 ・協定事項に従い管理を行うことができている。 ・概ね収支計画通りに支出管理を行うことができている。 ・苦情対応や台風被災時の迅速な対応により、利用者サービスの向上に繋がっている。 ・今後も適切な管理運営に努めていただきたい。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(佐土原・地域市民福祉課)

施設名称	宮崎市城の駅		
指定管理者名	特定非営利活動法人ドンと佐土原まちおこし隊		
指定期間	2021.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	34 / 36	94.4%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	10 / 15	66.7%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
941,297	計画値	46.3%	3.6%	19,858,000	19,858,000	1,000,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	40.5%	1.7%	24,557,008	23,615,711	1,281,141
3.83%	増減	-5.8%	-1.9%	4,699,008	3,757,711	281,141

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに実施することにより、佐土原の伝統文化の発信、市民の交流促進及び活力ある地域作りが図られた。	隣接する鶴松館が休館となる平日に、史跡等案内業務やスタンプラリー対応を行うなど、佐土原の地域内外に残る歴史・伝統文化情報・イベント情報等を提供した。
自主事業	事業計画どおり実施し、利用料金の増加が図られた。 当初の計画に加え、近隣の市場で商品を直接仕入れ、商品を充実させることで利用者の確保が図られた。	有縁交流都市の秋田県大仙市はじめ、歴史的背景から交流を続ける都市と相互に商品の仕入れ販売を実施することで、利用料金の増加が図られた。 隣接する鶴松館との定期的な連絡会で情報共有し、歴史・文化の拠点として両施設が一体となり相乗効果が得られるよう連携強化について検討を行った。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	61,240人	61,207人	62,815人	62,002人	58,904人
対前年比率	100.1%	97.4%	101.3%	105.3%	91.0%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	64,730人	73,557人	81,854人	20,042人	
対前年比率	88.0%	89.9%	408.4%		
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	① 特に大きな変動なし。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）
			使用料	0.0	昨年度 実績値 333
	② 新規オープン特需やプレミアム商品券事業等により好調であった平成27年度と比較すると、約20,000人の減少となっている。		利用料金	78.9	実績値 386
			自主事業	170.9	増減 53

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・台風14号で佐土原地区交流センター避難時でもお店が開いていて大変助かった。
	苦情	・レジ前に立つスタッフが下を向いていて対応が遅い。 ・スタッフが他の客と話をしている。 ・レジでの姿勢が悪く、いい思いがしない。 ・もっと歴史、文化に関するものがあったもよい。 ・スタンプラリーのインクが切れている。
改善の姿勢	指摘があった部分については、その都度対応し、スタッフに不備がある場合には謝罪をしている。 トラブルがあった場合は、駅長が間に入り、適切に処理している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	◎
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	◎
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	◎

②所見

◆総合評価について （①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況）	
①概ね期待どおりの管理運営が行われている。 ②概ね協定事項に沿って期待どおりに実行されている。 ③市場から仕入れた商品を増やしたことで、これまでにない事業収益となったため、期待以上の事業収入となった。 ④昨年度と比較し利用者は微減となったが、利用者一人当たりの収入額は増加となった。	

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課 (佐土原・農林建設課)

施設名称	宮崎市津倉市民農園		
指定管理者名	津倉地区自治会		
指定期間	2018.4.1	～	2023.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	42 / 43	97.7%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	32 / 32	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
80,406	計画値	54.1%	0.0%	1,304,080	1,304,080	120,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	60.9%	0.0%	1,326,697	1,246,291	130,134
6.06%	増減	6.8%	0.0%	22,617	-57,789	10,134

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり指定管理業務を実施し、施設開園時間を長く設定するなどして、利用者の利便性を考慮した運営に努め、設置目的である市民の余暇の活用、健康の増進に寄与するとともに、農業経験を活かした栽培指導等を実施することで農業に対する理解を深めることができた。	津倉市民農園が設置されている地域は、農業が盛んな地域であるが、地域内に市民が訪れるような施設は少なく、地域外から市民が津倉市民農園を訪れることにより、地域の活性化が図られている。 また、地域の自治会が津倉市民農園の管理を行うことで、地域住民の雇用にも繋がっている。
自主事業	利用者の都合により区画の維持管理が出来ない場合のサポートを行うことで、市民が余暇の範囲で利用しやすい環境づくりを行っている。 屋外の活動であるため水分補給用として自動販売機を設置し、利用者の体調管理にも配慮している。 交流会については、新型コロナウイルス感染症防止の観点から実施されていない。	津倉市民農園が設置されている地域は、農業が盛んな地域であるが、地域内に市民が訪れるような施設は少なく、地域外から市民が津倉市民農園を訪れることにより、地域の活性化が図られている。 また、地域の自治会が津倉市民農園の管理を行うことで、地域住民の雇用にも繋がっている。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	0,133人	0,115人	0,118人	0,101人	0,097人
対前年比率	115.7%	97.5%	116.8%	104.1%	80.8%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	0,120人	0,104人	0,109人	0,119人	0,128人
対前年比率	115.4%	95.4%	91.6%	93.0%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①コロナ過に伴う市民農園ブームにより新規利用者の申込が多く、利用率が上昇した。		利用者1人あたりの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）
			使用料	7,219.8	昨年度実績値 11,091
	②開設当初の平成22年度は153区画の利用があったが、以降利用率が減少傾向にあった。近年はコロナ過に対し屋外かつ人との接触も少なく利用が好まれる傾向にあり利用率が増加に転じている。		利用料金	643.7	実績値 9,371
			自主事業	203.0	増減 ▲ 1,720

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・指定管理者である津倉地区自治会には農業者が多く、その経験を活かした作付け相談や栽培サポートは好評である。 ・施設内の清掃、管理も適正に行われている。
	苦情	・利用が終了した区画は整地を行うことになっており、元利用者の依頼で指定管理者が整地を行う場合があるが、様々な事情により作業が遅れる場合があり、次の利用者から整地の催促を受けることがある。
改善の姿勢	利用者に対し作業遅延の理由を説明し理解してもらおうと共に、優先的に整地を行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	△		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	◎		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	△
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況

- ・概ね期待どおりの管理運営が行われている。
- ・指定管理者は農業に関する知識を保有しており、利用者には適切な助言等を行いながら利用者の意向を尊重した栽培サポート等を実施している。
- ・利用率の向上が課題となっているが、近年は上昇傾向にあり、さらなる利用率向上に向けた取組を期待したい。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(田野・農林建設課)

施設名称	宮崎市田野物産センター		
指定管理者名	有限会社田中漬物		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 20	80.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68 / 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-238,575	計画値	41.7%	9.1%	14,200,000	13,804,000	2,700,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	49.3%	1.6%	19,124,686	19,363,261	3,104,782
-1.25%	増減	7.6%	-7.5%	4,924,686	5,559,261	404,782

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施した。 コロナによる来店者減少はあったが、干し大根等注文を受け、郵送での発送を行った。	地域住民との連携が図られ、地域活性化に貢献している。
自主事業	自主事業の実施により、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域住民との連携が図られ、地域活性化に貢献している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	121,254人	123,445人	129,329人	137,772人	143,041人
対前年比率	98.2%	95.5%	93.9%	96.3%	93.6%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	152,869人	160,226人	171,014人	171,098人	177,350人
対前年比率	95.4%	93.7%	100.0%	96.5%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルスの影響によるイベント中止等による利用者減少のため。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度 実績値 111
	②新型コロナウイルスの影響による利用者減少のため。		利用料金	59.2	実績値 160
			自主事業	78.0	増減 49

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	
	苦情	①お釣りの間違いで対応が悪くお客様が憤慨された。 ②弁当が酸っぱく感じたお客様より返品があった。 ③干し大根の発送の問合せが相次いだ。
改善の姿勢	①店長が対応し、お客様へお詫びを申し上げた。 店員に対応が悪かったことを認め、反省するよう促した。 店員全員が対応を話し合った。 ②検査に出したところ菌数が上がっていたため、生産者に結果を報告し、改善するよう注意した。 ③1月には寒波があり、原料状況が悪く、出荷できない状態があることを説明した。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	△
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	△
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
- 施設の管理が適切に行われ、良好な環境が保たれている。 - 概ね期待どおりの管理運営が行われている。 - 自主事業についても臨機応変な対応や創意工夫による指定管理者の経営努力で成果が得られている。 - 提出書類について、一部改善を求めた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(田野・農林建設課)

施設名称	宮崎市道の駅田野総合案内施設		
指定管理者名	有限会社田中漬物		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	18 / 20	90.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 71	93.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-357,659	計画値	64.6%	9.6%	5,363,148	5,390,000	730,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	62.1%	3.4%	8,527,910	8,885,569	613,328
-4.19%	増減	-2.5%	-6.3%	3,164,762	3,495,569	-116,672

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施した。	県道通行者の利用者により、地域活性化に貢献している。
自主事業	自主事業の実施により、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域住民との連携が図られ、地域活性化に貢献している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	24,701人	23,039人	20,908人	28,436人	29,338人
対前年比率	107.2%	110.2%	73.5%	96.9%	83.8%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	34,995人	35,599人	39,472人	34,344人	28,856人
対前年比率	98.3%	90.2%	114.9%	119.0%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①コロナ禍の規制緩和による利用者（観光客）増加のため。		利用者1人あたりからの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）
			使用料	0.0	昨年度実績値 413
	②新型コロナウイルスの影響による利用者減少のため。		利用料金	151.5	実績値 360
			自主事業	133.2	増減 ▲ 53

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	
	苦情	利用者からの苦情はないが、宮崎市田野物産センターを道の駅と勘違いしての電話が多い。
改善の姿勢	山の方（道の駅）か、町の方（物産センター）か、確認をするようにしており、丁寧に施設の違いを説明している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況

- ・施設の管理も適切に行われ、特にトラブルはなかった。
- ・概ね期待どおりの管理運営が行われている。
- ・自主事業については、店舗を飛び出してのイベント参加や創意工夫を行うなど、指定管理者の経営努力により成果が得られている。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(高岡・地域市民福祉課)

施設名称	宮崎市高岡交流プラザ				
指定管理者名	株式会社NPK				
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	46 / 47	97.9%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	14.5 / 15	96.7%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	24.5 / 25	98.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68.5 / 71	96.5%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
203,722	計画値	55.8%	12.2%	21,587,000	21,314,000	1,710,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	57.9%	9.1%	21,569,895	21,366,173	2,257,000
0.94%	増減	2.1%	-3.2%	-17,105	52,173	547,000

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	市民の交流の促進及び地域の連帯感の醸成が図られた。	市民の交流の場として、また防災拠点施設として十分な役割を担えた。
自主事業	新型コロナの影響により、事業計画どおりの実施ができなかった。	施設の多目的な活用により市民の交流の促進が図られた。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	19,510人	11,944人	13,995人	27,441人	32,555人	
対前年比率	163.3%	85.3%	51.0%	84.3%	98.6%	
指定期間	●	●	●	●		
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	33,022人	29,062人	27,468人	27,062人	24,835人	
対前年比率	113.6%	105.8%	101.5%	109.0%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナの影響により、令和元年度以降は減少が続いていたが、徐々に回復傾向である。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	85.6	昨年度 実績値	1,603
	②開館以降徐々に利用者が増加していたが、新型コロナの影響で、令和元年以降は減少している。今後は徐々に回復するものと思われる。		利用料金	0.0	実績値	1,095
			自主事業	22.0	増減	▲ 508

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	施設に対する好意的な意見や職員の電話対応に対する意見等、来場者の高い満足度をいただいている。アンケート調査では、全数(510件)において設備の使いやすさと職員の対応について、非常に高い満足度をいただいている。
	苦情	無し
改善の姿勢	指定管理者で対応可能な内容については積極的に行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	△
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	△
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	◎		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
- 新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、概ね期待どおりの管理運営が行われている。 - 避難所開設時に職員が昼夜に待機し、避難者の支援を積極的に行う等、防災拠点施設としての責務を果たしている。 - 指定管理者のノウハウを効果的に発揮し、財源を確保したことで全体事業収支を黒字化している。 - 新型コロナウイルスの影響により、令和2年度以降は利用者が激減しているため、今後はより利用者の確保に努める必要がある。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(高岡・農林建設課)

施設名称	宮崎市道の駅高岡				
指定管理者名	株式会社 アグリデザイン高岡				
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法	公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	8 / 8	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	38 / 40	95.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21 / 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	67 / 71	94.4%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
7,511,443	計画値	43.7%	1.8%	24,260,000	24,260,000	5,000,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	47.6%	3.0%	33,932,399	26,420,956	7,328,206
22.14%	増減	3.9%	1.2%	9,672,399	2,160,956	2,328,206

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	設置目的に沿って実施されており、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域住民との連携が図られ、地域活性化に貢献している。
自主事業	自主事業の実施により、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域住民との連携が図られ、地域活性化に貢献している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	472,855人	421,229人	395,475人	412,576人	359,606人	
対前年比率	112.3%	106.5%	95.9%	114.7%	93.3%	
指定期間	●	●	●	●		
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	385,600人	399,902人	405,775人	381,501人	361,001人	
対前年比率	96.4%	98.6%	106.4%	105.7%		
指定期間						
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルスの規制等が緩和され、利用者が増加した。		利用者1人あたり からの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの 管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度 実績値	55
	②自主事業の取組等により、新たな利用者層が確保できたため利用者数が増加した。		利用料金	62.0	実績値	56
			自主事業	9.8	増減	1

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	ソフトクリームが美味しかった。 品物が新鮮だった。 今後も利用したい。
	苦情	宮崎のお土産が少ない。 トイレの古さが気になる。
改善の姿勢	利用者の意見をスタッフで共有し、改善の必要性を含めて協議している。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	◎
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ・概ね期待通りの管理運営が行われている。
- ・自主事業については、指定管理者の経営努力により売上が伸びており、納付金を納められるなど成果が得られている。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(高岡・農林建設課)

施設名称	宮崎市内山農村研修センター				
指定管理者名	内山農村研修センター管理組合				
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31	選定方法	非公募

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	34 / 36	94.4%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	14 / 16	87.5%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	28 / 28	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	/	
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	/	
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	21 / 21	100.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	100.0%	0.0%	51,000	51,000	0
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	100.0%	0.0%	51,000	51,000	0
0.00%	増減	0.0%	0.0%	0	0	0

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおりに実施し、地域住民の利用促進が図られた。	地域住民との連携が図られ、地域活性化に貢献している。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	2,243人	0,913人	1,051人	2,387人	2,836人
対前年比率	245.7%	86.9%	44.0%	84.2%	141.5%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	2,004人	2,044人	1,813人	1,435人	0,507人
対前年比率	98.0%	112.7%	126.3%	283.0%	
指定期間	●	●	●	●	
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①コロナウイルスによる規制が緩くなり、利用者が大幅に増加し、令和元年度と同程度まで回復している。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 56
	②H25に比べると増加している。		利用料金	0.0	実績値 23
			自主事業	0.0	増減 ▲ 33

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	
	苦情	
改善の姿勢		

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ・概ね期待通りの管理運営が行われている。
- ・苦情等がない点についても評価できる。
- ・利用状況については、令和元年度以前の利用者数に戻つつある。

令和 4 年度 指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課 (清武・地域市民福祉課)

施設名称	宮崎市交流プラザきよたけ		
指定管理者名	株式会社四季の夢		
指定期間	2020.4.1	～	2025.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	35 / 39	89.7%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	8 / 8	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 36	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	18 / 25	72.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	62 / 67	92.5%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
3,252,238	計画値	11.6%	0.7%	145,398,100	145,398,100	1,346,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	10.2%	0.9%	152,105,466	148,853,228	1,740,333
2.14%	増減	-1.3%	0.2%	6,707,366	3,455,128	394,333

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	市民の交流や販売促進に関する事業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため規模縮小等の影響があったが、施設運営についてはおおむね事業計画どおりに実施され、地域で生産される特産品等の消費拡大、地産地消等が図られた。	安定した施設運営により、地域で生産される特産品等の消費拡大、地産地消等に貢献している。 宮崎大学地域資源創成学部の実習生の受入や商工会等が企画するイベントへの出店等、地域の他団体との連携が図られている。
自主事業	出品者が安心して出品できることで、品揃えの充実につながった。 障がい者が加工した食品等を販売する場を提供した。	地域の特産品、農産加工品等を知る機会が増え、地産地消や地域への理解を深めることができた。 障がい者が活動する場を提供することで、就労支援に繋がった。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	
利用者数	145,235人	143,884人	159,101人	153,083人	147,817人	
対前年比率	100.9%	90.4%	103.9%	103.6%	94.1%	
指定期間	●	●	●	●	●	
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	
利用者数	157,065人	162,322人	162,607人	149,122人	145,407人	
対前年比率	96.8%	99.8%	109.0%	102.6%		
指定期間	●	●	●	●		●
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受けた期間があったものの、前年度と違い時短営業やイベント中止には至らなかったことから、増加に転じたものと思われる。 ②地域で生産される農産物、加工品、工芸品等の特産物について、安定した品揃えではあるものの、内容自体に大きな変化がないことから、結果的に利用者数の大幅な変動がなかったものと思われる。		利用者1人あたりからの収入（客単価：円）		利用者1人あたりの管理運営経費（円）	
			使用料	0.0	昨年度実績値	991
			利用料金	97.1	実績値	1,025
			自主事業	83.7	増減	34

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・新商品が増えて買い物が楽しになった。 ・丁寧な対応もあり、雰囲気良かった。
	苦情	・買った商品の袋への入れ忘れがあった。(レジで職員が袋詰めを行っている) ・商品(農産物)が傷んでいた。
改善の姿勢	・ミスがあった場合は開店前のスタッフミーティングにて情報共有し、再発防止に努めた。 ・野菜や果物について、品出しの際に品質チェックを行っているが、購入者から商品が傷んでいた等の申し出があった場合には、返品・交換等の対応を行った。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
①概ね期待通り管理運営が行われている。 ②新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響があったものの、学生の施設見学や各種イベント等への出店など、地域の交流活動に寄与していた。 ③④前年度よりも収入が増え、収支としては黒字であったこと、また利用者数も増加に転じたことから、指定管理者の経営努力がみられる。 地域振興の中心となる施設であるが、東九州自動車道清武一日間が開通するなど、周辺環境は大きく変化してきている。通常の施設運営に加え、周辺環境の変化を捉えた事業展開にも期待したい。

令和

4 年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(生涯学習課)

施設名称	宮崎市きよたけ児童クラブ施設		
指定管理者名	シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社九州・沖縄支店		
指定期間	2021.4.1	～	2026.3.31
	選定方法	公募	

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	36 / 40	90.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	16 / 20	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64 / 67	95.5%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
0	計画値	69.2%	3.8%	16,680,000	16,680,000	720,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	85.1%	1.7%	17,247,600	17,247,600	876,469
0.00%	増減	15.9%	-2.1%	567,600	567,600	156,469

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	・事業計画通り、児童クラブ運営等を円滑に実施し、児童の放課後の居場所確保につながった。	・清武地区の待機児童減少に寄与している。
自主事業	・コロナ感染防止対策として、手洗いの指導を実施。弊社栄養士とキャラクターである「もぐちゃん」の着ぐるみの指導で、楽しく覚えることができた。	

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	21,382人	21,594人	18,779人	18,860人	21,720人
対前年比率	99.0%	115.0%	99.6%	86.8%	102.3%
指定期間	●	●			
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	21,233人	21,751人	22,191人	21,492人	16,875人
対前年比率	97.6%	98.0%	103.3%	127.4%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、児童クラブ利用を控える児童があり、利用者がやや減少している。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 766
	②定員数が定まっている施設であるため、例年大幅な利用者の増減はないが、清武地区の放課後児童数の増減に合わせ、利用者数も増減している。		利用料金	0.0	実績値 807
			自主事業	0.0	増減 41

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・宿題以外の勉強(公文など)ができると助かります。 ・クラブに楽しく子どもが行けて、安心してます。 ・季節ごとのイベント(夏祭りなど)があり楽しかった。 ・友達とのトラブルにもしっかりと対応してくださり、ありがとうございました。
	苦情	・特になし
改善の姿勢	・市や利用者からの要望や意見に対し、迅速に対応しており改善しようとする姿勢が伺える。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について

(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)

- ①職員の資質向上のため研修を行い、職員の資質向上に努めている。
- ②緊急時の対応マニュアル等も整備されており、協定に基づいた適切な運営がなされている。
- ③積極的に児童クラブ職員の処遇改善に取り組む姿勢が伺える。
- ④利用状況について、利用者からの意見を参考により良い運営を行い、清武地区の待機児童数減少に寄与している。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(生涯学習課)

施設名称	宮崎市きよたけ児童文化センター		
指定管理者名	特定非営利活動法人みやざき子ども文化センター		
指定期間	2019.4.1	～	2024.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	40 / 43	93.0%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	16 / 16	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40 / 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21 / 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	64 / 67	95.5%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-182,441	計画値	75.7%	7.6%	10,010,000	10,010,000	90,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	75.6%	7.5%	10,115,536	10,297,977	65,758
-1.80%	増減	-0.0%	-0.1%	105,536	287,977	-24,242

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	・事業計画どおり実施し、世代間の交流のある事業展開により、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域に残る昔の遊びを活用した事業を展開できている。 地域の小学校の児童が利用してお伝統文化の継承に寄与している。
自主事業	さまざまな分野の講座や教室を実施することで、利用者の確保が図られた。	地域に残る伝統文化を活用した事業を展開できている。 地域の小学校との連携が図られ、伝統文化の継承に寄与している。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	23,839人	16,481人	17,737人	36,894人	43,314人
対前年比率	144.6%	92.9%	48.1%	85.2%	104.3%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	41,540人	40,368人	36,215人	33,076人	33,121人
対前年比率	102.9%	111.5%	109.5%	99.9%	
指定期間	●	●			
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①令和4年度は、コロナによる閉館がなかったため、利用者が増加。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 612
	②利用者数の最も多い平成30年度と比較すると利用者数は少ないが、イベントや講座の数を増やすことで利用者増への努力を行っている。		利用料金	0.0	実績値 432
			自主事業	0.0	増減 ▲180

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・無料でこんなにいっぱいできるなんてすごいです。 ・3年ぶりの開催を待ち望んでいました。とても素敵なリス、嬉しいです。慣れない作業もありましたが、とても楽しい時間でした。 ・昨年も参加して立派なのが出来たので今年も参加しました。素敵なものが出来ました。親子で参加できるので思い出にもなりました。 ・いつも楽しい企画がありありがとうございます。家にはない工具など使わせていただけてとても良い経験が出来ました。
	苦情	・特になし
改善の姿勢	・これまでに進んでいた講座等の内容の見直し等、創意工夫を行っている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	◎
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	◎
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	◎
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	◎	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	◎
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	◎		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	◎
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	◎		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	△
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	◎
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	◎		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
①施設内の使いやすさや安全に対する配慮が施設内の随所に見られ、利用者に寄り添った対応がなされている。 ②協定事項について、適正な事業の実施ができています。 ③事業収支について、マイナスとなっているが、講座内容を職員自身で考案する等、指定管理者としての経費削減に対する努力が見られる。 ④利用状況について、各イベントや活動内容を工夫しながら運営を行い、利用者増加へ貢献している。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(生涯学習課)

施設名称	宮崎科学技術館		
指定管理者名	公益財団法人宮崎文化振興協会		
指定期間	2020.4.1	～	2023.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 71	93.0%

②事業収支

収支【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
6,030,406	計画値	35.6%	37.0%	183,630,000	183,630,000	18,474,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	34.6%	36.4%	191,400,132	185,369,726	21,692,445
3.15%	増減	-0.9%	-0.5%	7,770,132	1,739,726	3,218,445

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、科学及び科学技術に関する知識の普及啓発が図られた。 コロナウイルス感染拡大防止による講座等の行事中止の影響もあったが、さまざまな企画展や教室棟の事業開催により利用者確保など利用促進が図られた。	館外で実験教室や授業支援を行い、教育施設の支援や、イベントや市街地の活性化の取組みを支援するアウトリーチ事業を5件企画した。しかしながら、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2件を中止し、3件開催。本年度は新たにアミュープラザ・イベント広場で開催しており、宮崎科学技術館の取組みを知ってもらおうと同時にイベントや市街地の活性化につながった。
自主事業	事業計画どおり実施しただけでなく、さらに多くの企画展や講演会などを実施することで、連日多くの来場者が訪れ、来館者の科学及び科学技術に関する知識の普及啓発が図られた。	新しい事業を実施することで、これまで利用していなかった人への来館につなげるアプローチになっている。宮崎駅や中心市街地とのイベントを連動させることで、まちなかを訪れる人たち、科学技術館を訪れる人たちを互いに回遊させる効果にもつながり、地域活性化につながった。

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	132,933人	70,204人	49,827人	143,430人	151,493人
対前年比率	189.4%	140.9%	34.7%	94.7%	87.1%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	173,944人	160,285人	158,950人	153,621人	138,459人
対前年比率	108.5%	100.8%	103.5%	111.0%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染拡大を防止するための休館が無ったことや同館の35周年イベント等が行なわれ入館者が増えたため。		利用者1人あたりの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度実績値 2,393
	②3年余り続いたコロナ禍の影響があり、コロナ禍前の利用者数までに戻っていないと考えられる。		利用料金	17.1	実績値 1,394
			自主事業	286.1	増減 ▲ 999

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	・いつも楽しませてもらっている。今後もこの施設の維持をよろしく願いたい。 ・子どもが科学技術館が大好きで、開館から閉館まで遊んでも退屈することなく、また来たい、時間が足りなかったと言う。すごく良い施設だと思います。子どものために、是非続けてほしい。 ・受付の方や案内の方がすごく丁寧に説明してくださり、すごく楽しめた。子どもたちも気に入っているので何度も行きたい。 ・祝日はほぼ科学技術館に来て、いつも家族で楽しんでいる。これからも営業してください。
	苦情	・休憩コーナーを少し広くしてほしい。カフェスペースがあればお昼も館内で過ごしたい。 ・飲み物を飲める場所を各階ごとに設けてほしい。 ・日祝日も18時までの営業ならよいのに。時間が短い。 ・お昼ご飯を食べられる場所として、会議室などを開放してほしい。 ・土曜日のイベントを充実させてほしい。
改善の姿勢	魅力的な科学技術館づくりの一つとして、4D・VRの体験展示や3Dホログラムディスプレイ、3D回転アームディスプレイの展示を自主事業で取り入れて、来館者が映像の最先端技術に触れ、科学に興味・関心が高まるように努めている。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、出納簿、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
①展示室やプラネタリウム事業等の円滑な運営を行うための保守・点検業務などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めていた。 ②協定事項について、適正な事業の実施ができていた。 ③4年度において、過去最高の利用料金収入を得ているが、この成果は来館者のニーズの把握、SNSを活用した効果的な広報活動など協会の継続的な努力に裏打ちされている。 ④映像技術の最先端である3Dホログラムディスプレイ等を導入し、来館者の科学技術に関する興味・関心を高めるとともに、35周年記念事業を自主事業で積極的に行うなど集客力の向上に努め、コロナ禍前の状況に近づきつつある。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(生涯学習課)

施設名称	大淀川学習館		
指定管理者名	公益財団法人宮崎文化振興協会		
指定期間	2020.4.1	～	2023.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12 / 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44 / 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	20 / 25	80.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 71	93.0%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
-2,715,092	計画値	48.1%	26.5%	82,592,000	82,592,000	8,050,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	45.2%	26.1%	80,499,170	83,214,262	7,541,425
-3.37%	増減	-2.9%	-0.4%	-2,092,830	622,262	-508,575

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、市民の河川環境への関心を持たせるための啓発が図られた。コロナウイルス感染拡大防止による閉館の影響もあったが、さまざまな企画展や教室棟の事業開催により利用者確保など利用促進が図られた。	大淀川流域の自然環境や生物を活用した事業を展開できている。
自主事業		

④利用状況

年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度
利用者数	97,055人	58,412人	52,759人	177,860人	195,241人
対前年比率	166.2%	110.7%	29.7%	91.1%	107.8%
指定期間	●	●	●	●	●
年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度
利用者数	181,038人	183,485人	184,728人	183,653人	166,512人
対前年比率	98.7%	99.3%	100.6%	110.3%	
指定期間	●	●	●	●	●
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルス感染拡大を防止するための 休館が無ったため。		利用者1人あたり からの収入(客単価:円)		利用者1人あたりの 管理運営経費(円)
			使用料	0.0	昨年度 実績値 1,396
	②3年余り続いたコロナ禍の影響があり、コロナ 禍前の利用者数までに戻っていないと考えられ る。		利用料金	2.7	実績値 857
			自主事業	1.8	増減 ▲ 539

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的 評価	・身近な場所にたくさんの種類の生き物を見ることができて楽しめた。 ・自然学習にとっても良い。 ・子どもの疑問にその場で答えていただき、大変いい経験になった。 ・図鑑と本物との違いが体験できてよかった。
	苦情	・質問カードなどで質問したことを郵送で教えてもらえるようなサービスがあったらいいと思う。 ・展示物の内容は興味深いものが多いのに、説明が子ども向けばかりなのに残念です。大人も楽しく知識をふやせるような施設づくりをしてほしい。 ・ホテルの展示のところが、小さい子が見えないので、見やすいように台を設置してほしい。
改善の姿勢	・子ども向けと大人向けの説明をわけて設置してほしいとの意見を受けて、魚のへやの展示にて、大人向けの説明を新たに設置した。 ・印刷物の情報更新についての問題提起があったため、facebook、ホームページにて、迅速に情報の更新をするようにした。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	○
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○		報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○	事業収支	事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○		健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	△
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○	利用状況	想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	

②所見

◆総合評価について
(①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
①展示物の工夫等を行うとともに、施設の維持管理、保守・点検などを実施し、健全で効率的な管理運営に努めている。施設内の使いやすさや安全に対する配慮が施設内の随所に見られ、利用者に寄り添った対応がなされている。
②協定事項について、大淀川流域の自然環境や生物を活用した事業の実施ができています。
③収支の実績について、収支差額がマイナスとなることなく健全な事業収支を保ち、指定管理者の経営努力が見られる。
④コロナ禍前の利用状況になるにはもう少し時間がかかると思われるが、様々な企画や教室等の事業開催など工夫しながら運営を行い、利用促進が図られた。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化財課)

施設名称	宮崎市生目の杜遊古館他2施設(宮崎市生目の杜遊古館、宮崎市佐土原歴史資料館、宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館)		
指定管理者名	公益財団法人 宮崎文化振興協会		
指定期間	R2.4.1	～	R5.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査 宮崎市生目の杜遊古館

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	45	／ 47	95.7%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	44	／ 44	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査 宮崎市佐土原歴史資料館

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	43	／ 47	91.5%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

①実地調査

宮崎市天ヶ城歴史民俗資料館

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価		達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36	／ 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	45	／ 47	95.7%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20	／ 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	12	／ 12	100.0%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	40	／ 40	100.0%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12	／ 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	21	／ 25	84.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	68	／ 71	95.8%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
6,725,785	計画値	46.6%	27.5%	116,911,000	116,911,000	9,944,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	47.2%	28.3%	116,053,740	109,327,955	9,078,506
5.80%	増減	0.6%	0.9%	-857,260	-7,583,045	-865,494

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与した事業が行われた。	地域に残る伝統文化を活用した研究事業を展開できている。 地域の小学校との連携が図られ、伝統文化の継承に寄与している。
自主事業	事業計画どおり実施し、文化財の啓発や、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域に残る伝統文化を活用した研究事業を展開できている。 地域の子どもたちとの連携が図られ、伝統文化の継承に寄与している。

④利用状況（該当複数施設の合計）

年度	令和3年度	令和2年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用者数	44,307人	31,828人	31,491人	59,899人	71,311人
対前年比率	139.2%	101.1%	52.6%	84.0%	94.1%
指定期間	●	●			
年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度
利用者数	75,809人	99,189人	95,142人	83,006人	85,855人
対前年比率	76.4%	104.3%	114.6%	96.7%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 （対前年比） ②長期的視点 （9年前比）	①新型コロナウイルスの影響により令和2年度から利用者が大幅に減少し、前年度（R3）から増加したものの、コロナ前の利用者数とはまだ開きがある。		利用者1人あたりの収入（客単価）		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	0	昨年度実績値 2467.509761
	②歴史資料館の統廃合の影響により、平成29年度から佐土原と天ヶ城は土日祝のみの開館となったため利用者数が落ち込んだ。令和2年度から全館ともコロナの影響により利用者が減少した。		利用料金	14.92044147	実績値 2467.509761
			自主事業	19.02430767	増減 0

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	【体験学習】子どもたちが興味をもって楽しんでいたので一緒に楽しめました。子どもにとってもよい経験になったと思います。（遊古館）、コロナ対策もしっかりされていて安心して体験することができました。（鶴松館）、子供達でも簡単にお菓子を作ることができたのでとても良かった。子供達が蒸し器を見たことがなかったので勉強になった。（天ヶ城）
	苦情	【体験学習】ついていくのに必死でした。もう少しゆっくりの方がわかりやすいと思いました。（遊古館の講座）、子どもたちが知らない体験講座をしてもらいたい。YouTube等動画でアーカイブでも見られるといいなと思いました。（鶴松館）、昔ながらの遊びやそれに関する工作ができればよいと思います。（天ヶ城）
改善の姿勢	これまでも利用者からの意見について改善を行っているため、苦情等のご意見は少なくなっている。今後も利用者からご意見については、対応できるものは対応していく。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業（法定点検含む）が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	△
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類（通帳、領収書、契約書等）の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支（0円以上）が保たれていたか。	◎
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について（①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況） ◆複数施設を包括して指定管理者の指定している効果について
◆総合評価について ・概ね期待どおりの管理運営が行われている。 ・実施事業についても、当初の期待どおりの成果が得られている。
◆複数施設を包括して指定管理者の指定をしている効果について ・複数施設間で職員の配置を効率的に行い、経費の削減を実現している。 ・コロナの影響を受けた中でも指定管理者の努力により利用者増を実現している。

令和

4

年度

指定管理者モニタリングレポート【別紙4】

1 基本情報

施設所管課

(文化財課)

施設名称	宮崎市安井息軒記念館(資料館、茶室「香梅庵」、安井息軒旧宅)		
指定管理者名	特定非営利活動法人安井息軒顕彰会		
指定期間	2020.4.1	～	2023.3.31
選定方法	公募		

2 モニタリング項目

①実地調査

確認事項	実地調査項目の主な内容	評価	達成率
建築物管理	・市の了解のない改造が加えられていないか。 ・雨樋、屋根、外壁等の破損はないか。 など	36 / 36	100.0%
衛生環境	・廃棄物は適正に分別(処理)されているか。 ・「建物における衛生的環境の確保に関する法律」に基づく法定点検が実施されているか。 など	44 / 47	93.6%
植栽・外構	・閉鎖、施錠はきちんとできているか。 ・柵線、表示板が破損・汚損等により不明瞭となっていないか。 など	20 / 20	100.0%
備品管理	・備品は全て利用可能な状態に保たれているか。 ・備品台帳のとおり管理表は貼付されているか。 など	10 / 12	83.3%
安全管理	・施設・設備の日常点検の項目と頻度は適正か。 ・施錠や鍵の管理は適正に行われているか。 など	42 / 44	95.5%
職員	・業務に従事する職員の接客態度は適切か。 ・業務に従事する職員の言葉遣いは適切か。 など	12 / 15	80.0%
情報	・利用者に対しての説明や案内は適切に行われているか。 ・利用者への情報提供は適切に行われているか。 など	19 / 25	76.0%
業務体制	・市の承諾なしに業務を第三者に委託し又は請け負わせていないか。 ・各種(日報・月報等)や必要書類は整備、保管されているか。 など	66 / 72	91.7%

②事業収支

収支 【円】 (収入－支出)		人件費比率 (人件費/支出)	外部委託比率 (委託料/支出)	収入計 【円】	支出計 【円】	光熱水費増減 【円】
1,829,301	計画値	49.9%	15.7%	17,868,000	17,868,000	1,500,000
余剰金比率 (収支/収入)	実績値	50.1%	18.6%	17,850,522	16,021,221	1,456,475
11.42%	増減	0.2%	3.0%	-17,478	-1,846,779	-43,525

③事業実施状況

区分	「設置目的」に対する効果	「地域貢献・地域活性化」に対する効果
市指定事業 (管理業務)	事業計画どおり実施し、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与した事業が行われた。	地域に残る伝統文化を活用した研究事業を展開できている。 地域の小学校との連携が図られ、伝統文化の継承に寄与している。
自主事業	事業計画どおり実施し、文化財の啓発や、新たな利用者の確保など利用促進が図られた。	地域に残る伝統文化を活用した研究事業を展開できている。 地域の子どもたちとの連携が図られ、伝統文化の継承に寄与している。

④利用状況

年度	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度
利用者数	7,712人	4,950人	4,484人	12,385人	10,253人
対前年比率	155.8%	110.4%	36.2%	120.8%	93.7%
指定期間	●	●	●		
年度	平成26年度	平成25年度	平成24年度	平成23年度	平成22年度
利用者数	10,947人	9,320人	10,566人	10,431人	9,579人
対前年比率	117.5%	88.2%	101.3%	108.9%	
指定期間					
増減の要因 ①短期的視点 (対前年比) ②長期的視点 (9年前比)	①新型コロナウイルスの影響により令和2年度から利用者数が大幅に減少した。令和4年度では増加したものの、コロナ前の利用者数とはまだ開きがある。		利用者1人あたりの収入(客単価)		利用者1人あたりの管理運営経費
			使用料	15,560,165.98	3236,610,303
	②指定管理者の導入もあり、利用者は増加傾向にあったが、新型コロナウイルスの影響により令和2年度から大幅に減少した。		利用料金	0	2077,440,482
			自主事業	8,428,423,237	-1159,169,821

⑤利用者評価

利用者の意見	好意的評価	施設利用のアンケートを見ると「とても分かりやすい展示がしてある」「展示だけでなく資料も充実している」という展示内容に満足した旨のコメントや、バスツアーなどの企画におけるアンケートでは、「立派な詳しいパンフレットも作成され、本当に良かった。次回もまた日程が合えば参加したい」との指定管理者独自の取り組みを評価する意見が多くみられた。また「記念館や顕彰会の方々に感謝したい」等の職員の対応に感謝するコメントもあった。
	苦情	利用者からの声やアンケートの記載で苦情の記載はなかった。関連として「清武の歴史にまつわる展示をもう少し見たかったので、なにかあればよいのと思った。(地名の由来など)」や「清武町の歴史についても、もう少しスペースを割いてほしい」「クイズコーナーなどがあると面白いと思いました」という提案・要望のコメントがあった。
改善の姿勢	指定管理者にアンケートに対する取り組みを尋ねたところ、令和3年度のアンケートの「ところどころに休憩用の椅子があると良い」という意見を反映して、数か所に休憩用の椅子を設置したとのことであった。今後もアンケートなど利用者の意見を参考に施設の管理運営をしていくとのことであった。	

3 総合評価

①チェック項目

◎：期待以上 ○：期待どおり △：改善の余地あり ×：不適

チェック項目		評価	チェック項目		評価
管理運営の状況	市との連携は図られていたか。	○	協定事項	協定・仕様のとおり事業(法定点検含む)が実施されたか。	○
	創意工夫により経費節減が図られていたか。	○		事業計画書における未実施の事業はなかったか。	○
	施設の安全管理は適正になされていたか。	○		管理物件の滅失又は損傷はなかったか。	△
	環境に配慮した施設管理がなされていたか。	○		権利義務を第三者に譲渡又は引き受けさせていないか。	○
	施設の利用促進に向けた取組が行われていたか。	○	事業収支	報告・提出書類の期日は守られていたか。	○
	施設運営上の課題を把握し、解決したか。	○		業務に関して知り得た秘密の漏洩はなかったか。	○
	指定管理者のノウハウが効果的に反映されていたか。	○		事業報告の収支状況と関係書類(通帳、領収書、出納簿、契約書等)の整合性がとれているか。	○
	利用者の公平性は確保されていたか。	○	利用状況	健全な事業収支(0円以上)が保たれていたか。	○
	利用者ニーズを把握し効果的に対応できていたか。	○		事業計画書と大きく異なる決算となっていないか。	○
	苦情・トラブルに適切に対応できていたか。	○		想定した利用者数を確保できていたか。	○
	サービス向上に積極的に取り組んでいたか。	○		利用者1人あたりの収入額は適正であったか。	○

②所見

◆総合評価について (①管理運営の状況 ②協定事項 ③事業収支 ④利用状況)
①管理運営の状況: 概ね期待どおり管理運営が行われているが、学芸員が不在となる時期があり運営に懸念が残る。
②協定事項 当初の期待どおりの成果が得られている。
③事業収支 団体の持つノウハウにより、経費の削減を実現している。
④利用状況 コロナ禍前の水準には届かないものの利用者増を実現している。